



千葉銀行Webサイト  
〔IRライブラリ〕



一人ひとりの思いを、  
もっと実現できる地域社会にする

# 2025年3月期 第3四半期 決算の概要



2025年2月7日

## 2025年3月期 第3四半期 決算

業績概要	3
業績概要（連結）	4
資金利益	5
貸出金平残・利回り	6
貸出金末残・預金末残	7
有価証券①②	8-9
役務取引①②③	10-12
与信関係費用・金融再生法開示債権 経費	13 14
自己資本比率・ROE・株主還元	15
DX	16

## 補足資料

金利上昇影響①② （足許の取込み・金利上昇シミュレーション）	18-19
与信関係費用（新規発生状況）	20
エッジテクノロジー・PMI	21

パーパス  
一人ひとりの思いを、  
もっと実現できる  
地域社会にする

ビジョン  
地域に寄り添う  
エンゲージメント  
バンクグループ

第15次  
中期経営計画

エンゲージメント  
バンクグループ  
～フェーズ1～

計画期間  
2023年4月～2026年3月



単体	(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比	2025/3	
		1-3Q	1-3Q		計画	進捗率
業務粗利益		1,259	1,427	168	1,898	75.2%
資金利益		1,045	1,172	127	1,539	
役務取引等利益		208	226	18	322	
特定取引利益		9	7	△ 2	14	
その他業務利益		△ 5	20	26	22	
うち債券関係損益		△ 49	△ 14	34	△ 2	
経費 (△)		633	669	36	895	74.8%
業務純益 (一般貸引繰入前)		626	757	131	1,003	75.5%
コア業務純益		675	772	97	1,005	76.8%
除く投資信託解約損益		652	751	98	972	77.2%
一般貸倒引当金繰入額 (△)		-	17	17	27	
業務純益		626	740	114	976	75.8%
臨時損益		83	56	△ 27	12	
うち不良債権処理額 (△)		1	49	48	108	
うち貸倒引当金戻入益		16	-	△ 16	-	
うち株式等関係損益		86	102	16	120	
経常利益		709	796	87	988	80.6%
特別損益		△ 1	△ 3	△ 1	△ 3	
<b>四半期純利益</b>		<b>507</b>	<b>564</b>	<b>56</b>	<b>700</b>	<b>80.5%</b>
与信関係費用 (△)		1	66	65	135	49.6%
連結	(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比	2025/3	
		1-3Q	1-3Q		計画	進捗率
連結経常利益		725	797	71	988	80.6%
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>		<b>501</b>	<b>545</b>	<b>44</b>	<b>700</b>	<b>77.9%</b>
(参考)						
連結業務純益 (一般貸引繰入前)		684	808	124	1,086	74.3%

### ◆ 資金利益 前年同期比+127億円

貸出金末残 (前年同期比 +4.1%)

国内業務部門貸出金利回り (前年同期比 +0.06%)

### ◆ 役務取引等利益 前年同期比+18億円 (第3四半期として過去最高)

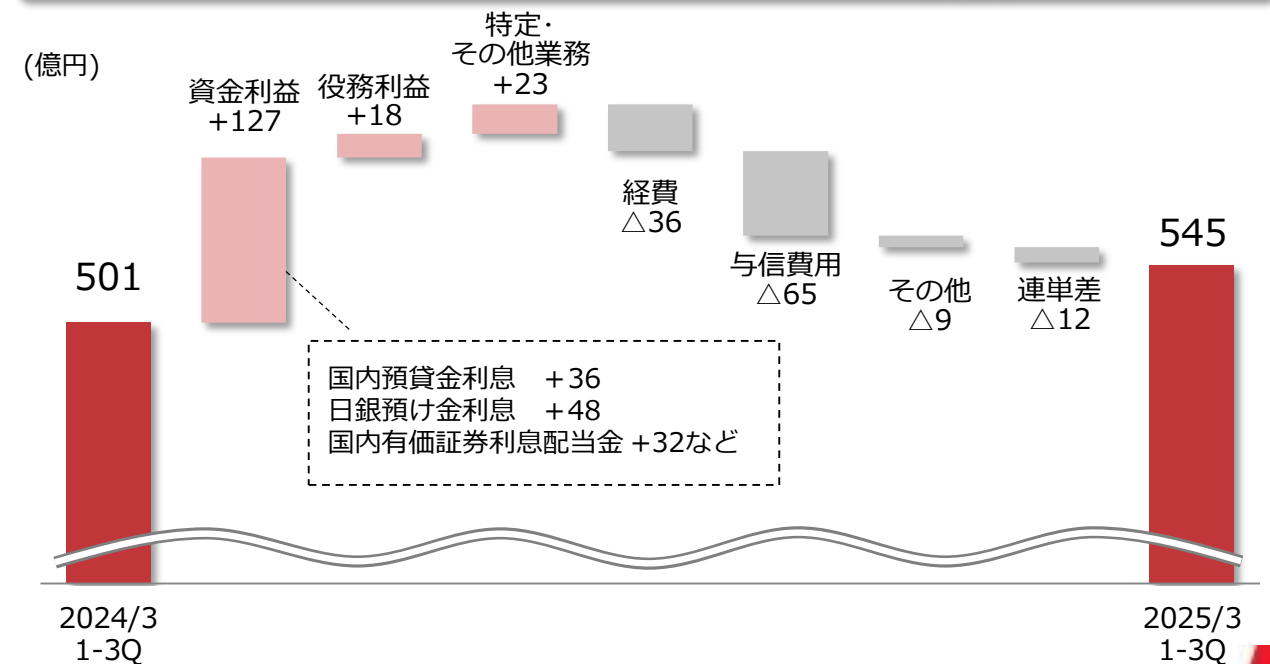
法人ソリューション収益 (前年同期比 +17億円)

### ◆ 経費 前年同期比+36億円 (進捗率 74.8%)

### ◆ 与信関係費用 前年同期比+65億円 (進捗率 49.6%)

### ◆ 四半期純利益 単体・連結とも第3四半期として過去最高を更新 (単体4期連続・連結3期連続)

### 親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因 (単体+連単差)



連結	(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
連結粗利益		1,305	1,460	155
資金利益		1,005	1,131	125
役務取引等利益		292	300	8
特定取引利益		13	7	△ 5
その他業務利益		△ 5	21	26
営業経費（△）		685	717	32
与信関係費用（△）		9	72	62
一般貸倒引当金純繰入額（△）		-	17	17
不良債権処理額（△）		9	54	44
株式等関係損益		96	108	12
持分法投資損益		1	1	△ 0
その他		16	16	△ 0
経常利益		725	797	71
特別損益		△ 0	△ 3	△ 3
税金等調整前四半期純利益		725	793	68
法人税等合計（△）		223	248	24
四半期純利益		501	545	44
非支配株主に帰属する四半期純利益		-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		501	545	44
(参考)				
連結業務純益（一般貸引繰入前）		684	808	124

## 子会社の状況

※連結決算用に組替後のPL表示

【連結子会社】

(億円)

会社名	出資割合 (間接含む)	利益項目 (子会社間配当控除後)	2024/3	2025/3	前年同期比
			1-3Q	1-3Q	
ちばぎん証券	100%	経常利益	△ 3	△ 3	△ 0
		四半期純利益	△ 3	△ 3	△ 0
ちばぎんリース	100%	経常利益	5	4	△ 0
		四半期純利益	3	3	△ 0
ちばぎん保証	100%	経常利益	39	43	3
		四半期純利益	25	28	2
ちばぎんカード※1	100%	経常利益	13	2	△ 11
		四半期純利益	8	1	△ 7
その他5社※2 合計	100%	経常利益	3	2	△ 0
		四半期純利益	3	1	△ 1
9社 合計		経常利益	58	50	△ 8
		四半期純利益	37	30	△ 6

※1 2024年4月、ちばぎんジェーシーピーカードとちばぎんカードは吸収合併を実施（ちばぎんカードを吸収合併存続会社とする）

※2 2024年12月、エッジテクノロジーを完全子会社化

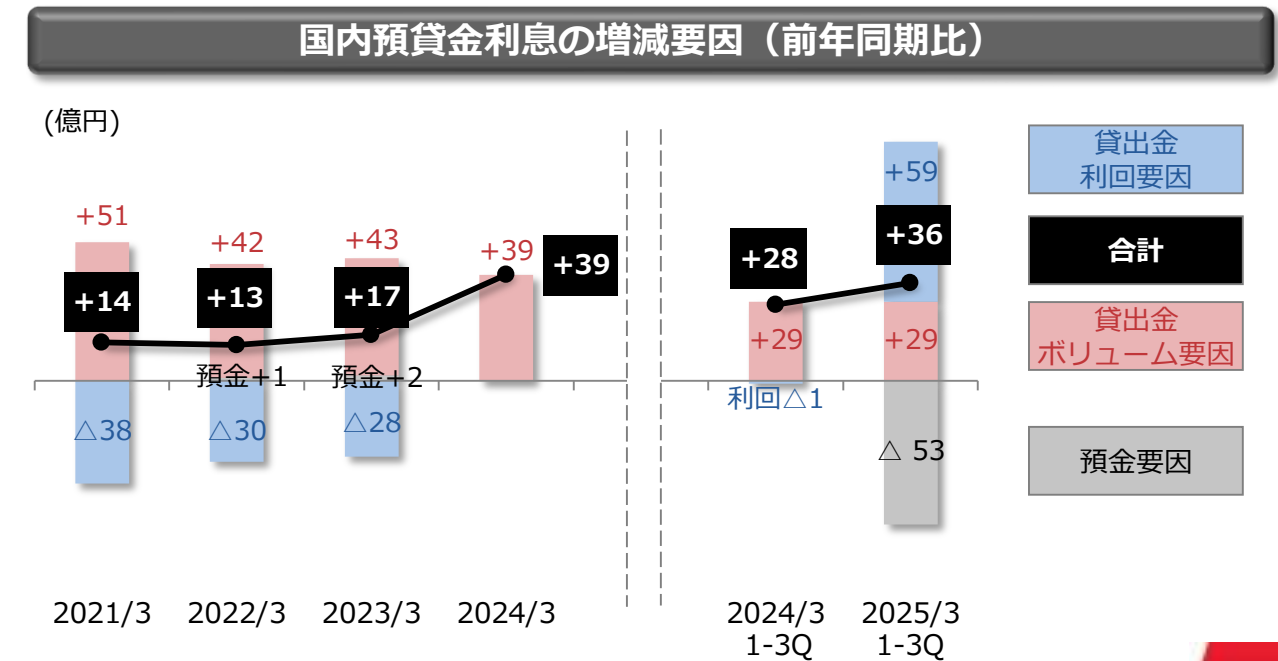
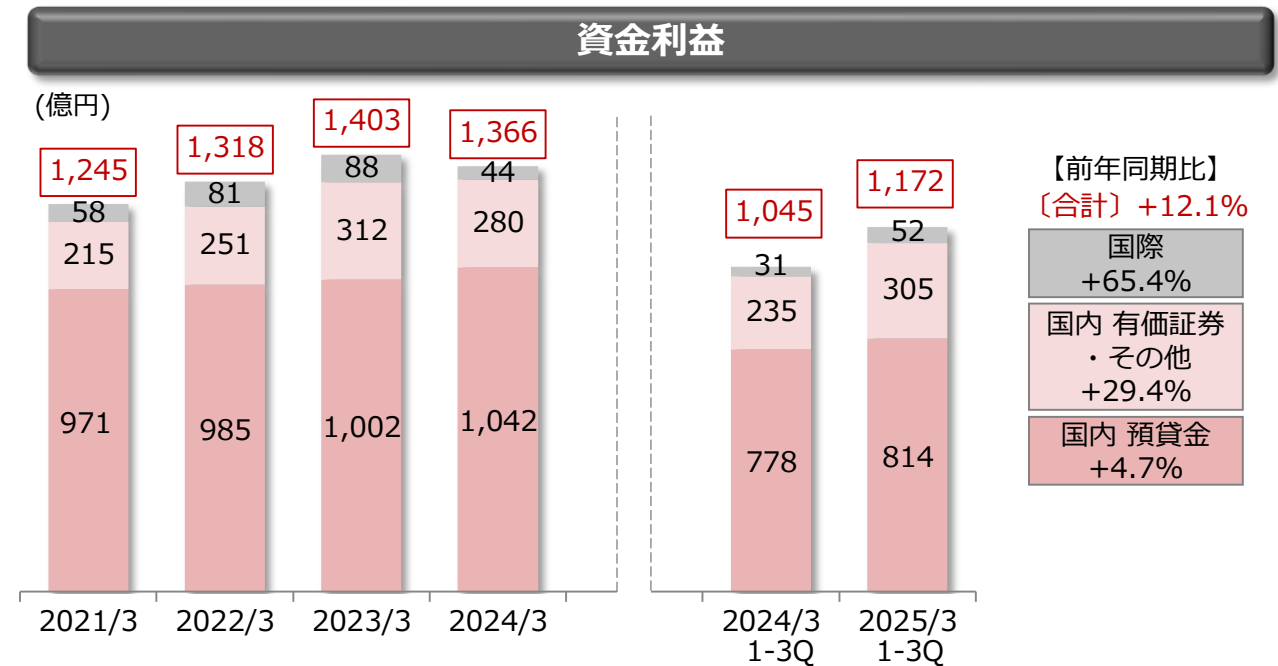
【持分法子会社】

6社 合計	持分法に応じた 四半期純利益	1	1	△ 0
-------	-------------------	---	---	-----

親会社への配当(△)	44	46	1
連単差 ※	△ 5	△ 18	△ 12

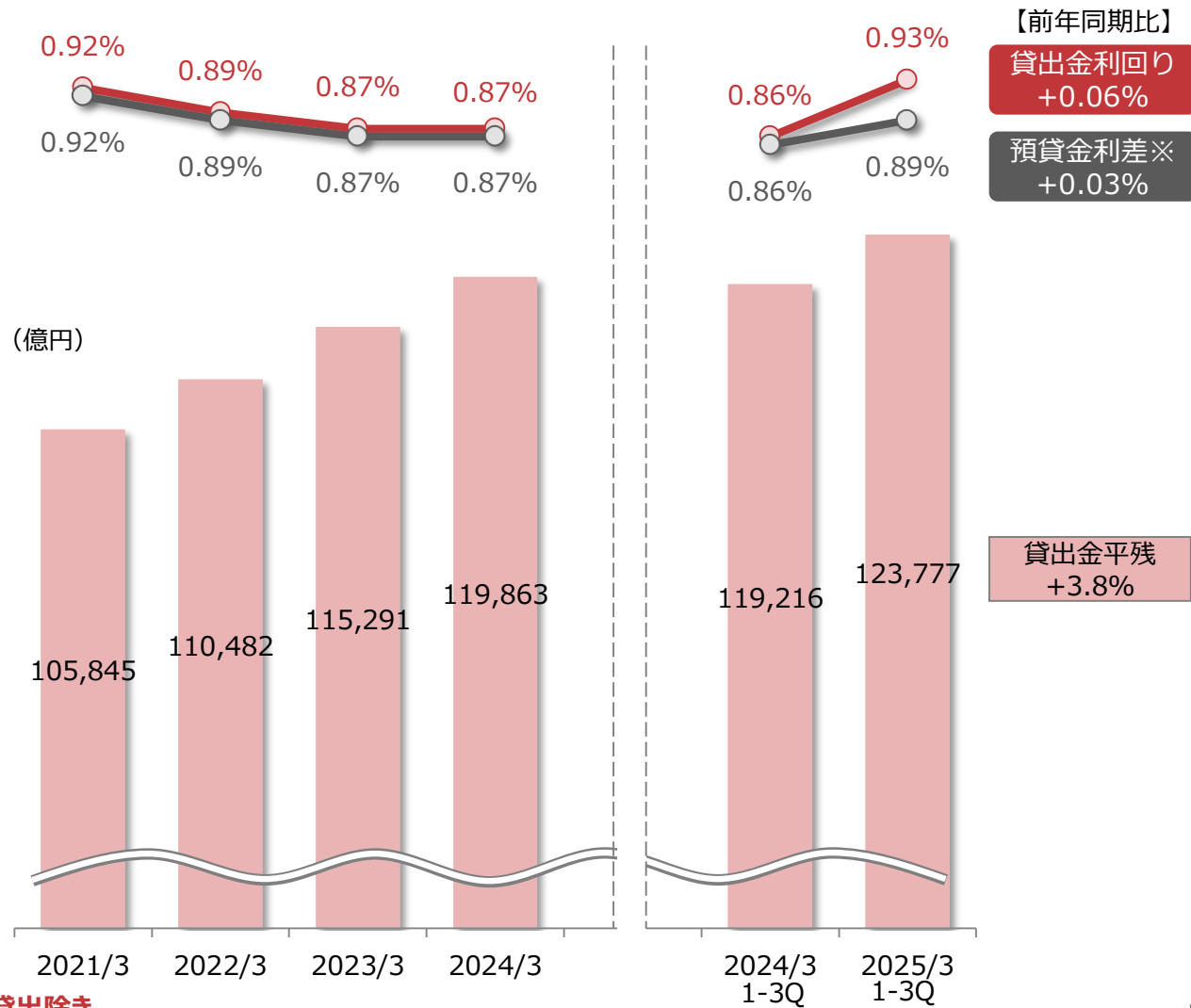
※未実現利益等の調整後

(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
資金利益	1,045	1,172	127
国内資金利益	1,013	1,119	106
預貸金利息	778	814	36
貸出金	780	870	89
預金+NCD (△)	1	55	53
有価証券利息配当金	222	255	32
債券	32	54	22
株式配当金	107	117	10
投資事業組合	8	16	7
投信	74	67	△ 7
うち解約益	22	15	△ 6
その他 (市場運用調達等)	12	49	36
国際資金利益	31	52	20
貸出金	187	239	51
外国証券	191	256	65
外国証券	176	234	57
外貨ファンド	11	13	2
投信	3	8	4
うち解約益	0	5	5
その他 (調達、市場運用等)	△ 347	△ 443	△ 96
資金利益 (除く投信解約益)	1,023	1,151	128
投信解約益	22	21	△ 1

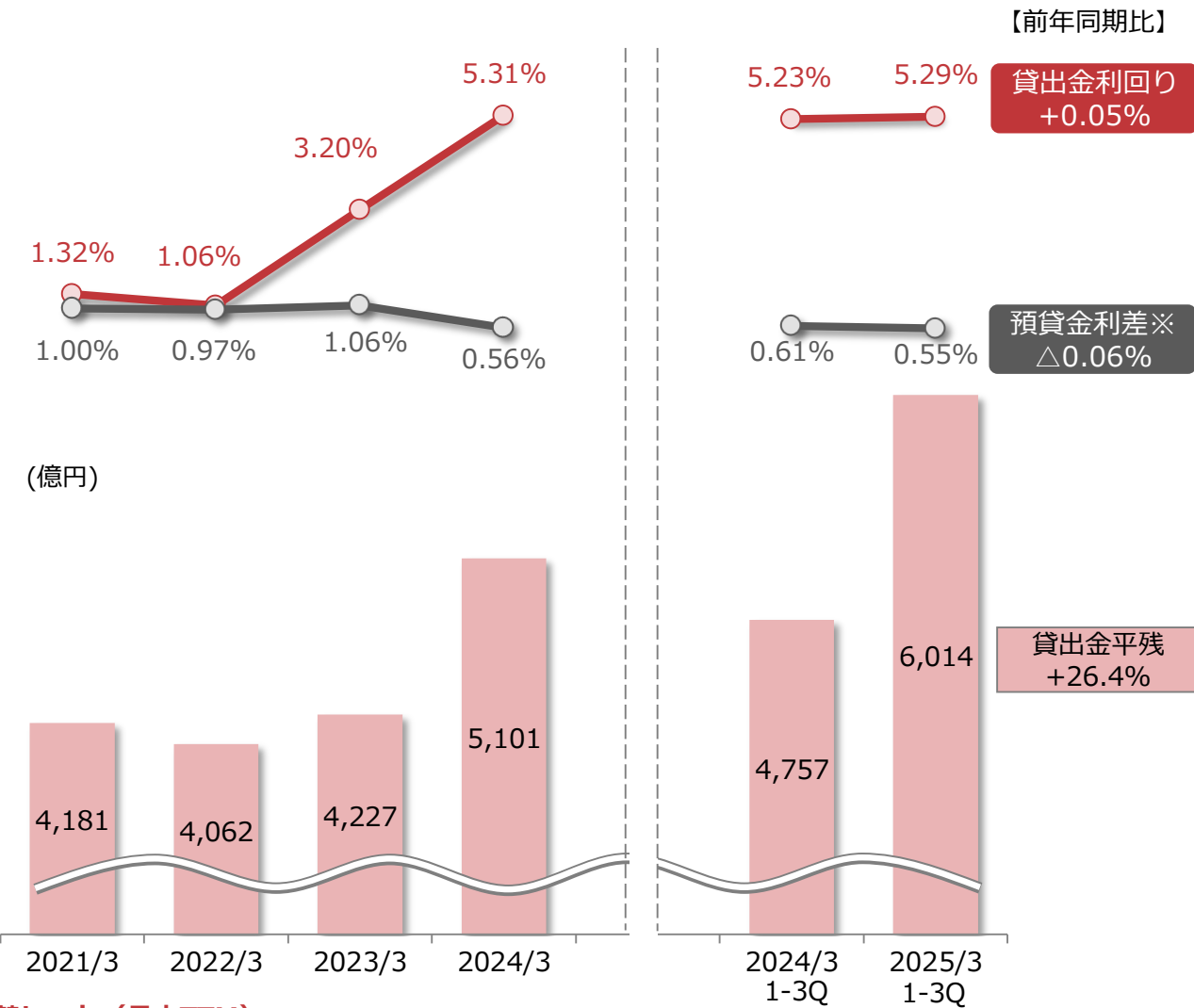


## 国内業務部門 貸出金平残・利回り

※①貸出金利回り・②預金利回り(NCD含む)ともに小数点第2位未満切捨て、  
預貸金利差は①②ともに小数点第2位未満切捨て後の数値を差引し算出



## 国際業務部門 貸出金平残・利回り



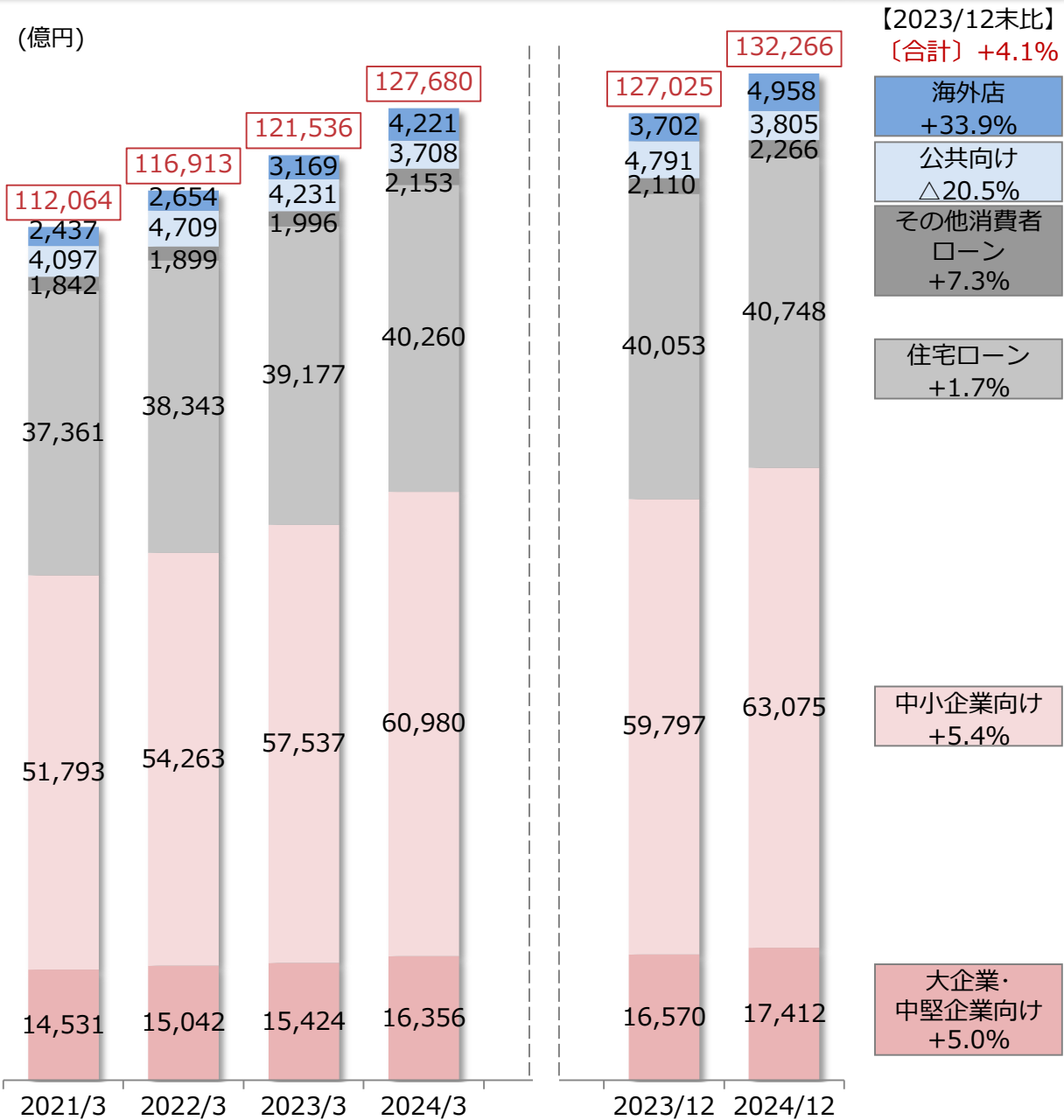
【参考】為替レート (月末TTM)

1ドル	110.71円	122.39円	133.53円	151.41円	141.83円	158.18円
-----	---------	---------	---------	---------	---------	---------

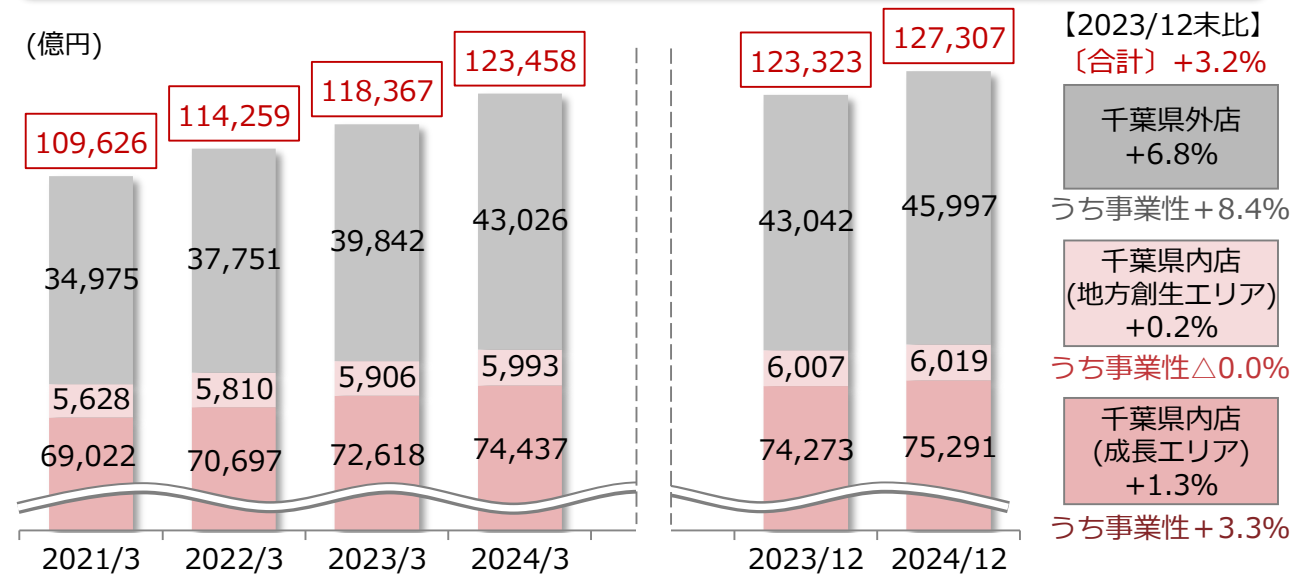
財務省貸出除き

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/3 1-3Q	2025/3 1-3Q
貸出金平残	103,915	108,440	112,761	117,822	117,196	121,975
貸出金利回り	0.94%	0.91%	0.89%	0.88%	0.88%	0.94%

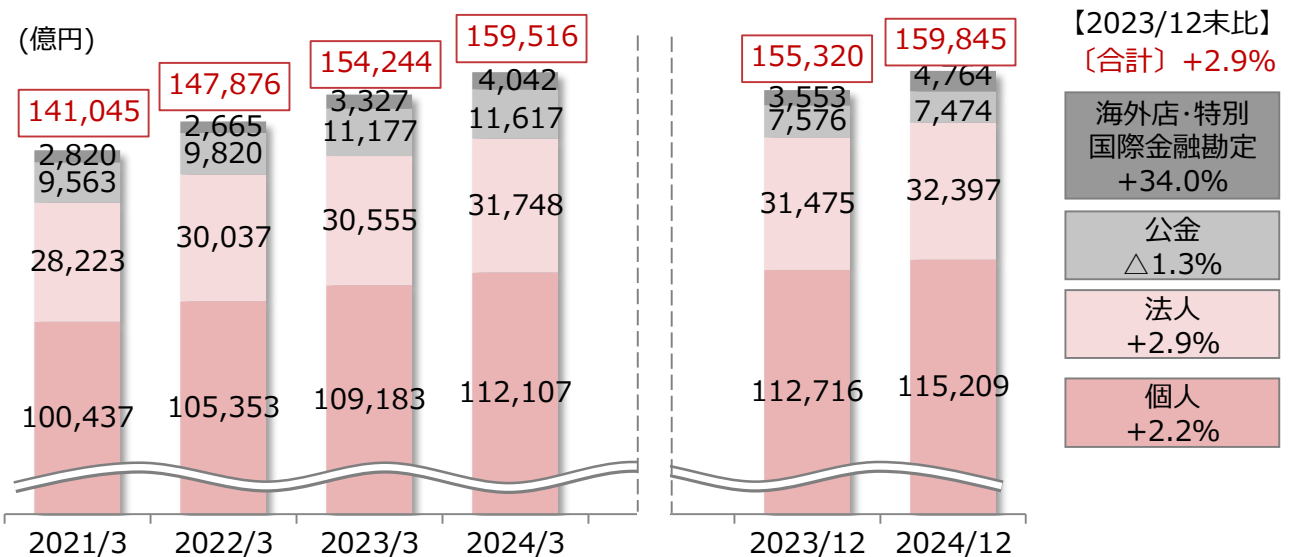
## 貸出金末残



## 国内 貸出金末残 (エリア別)

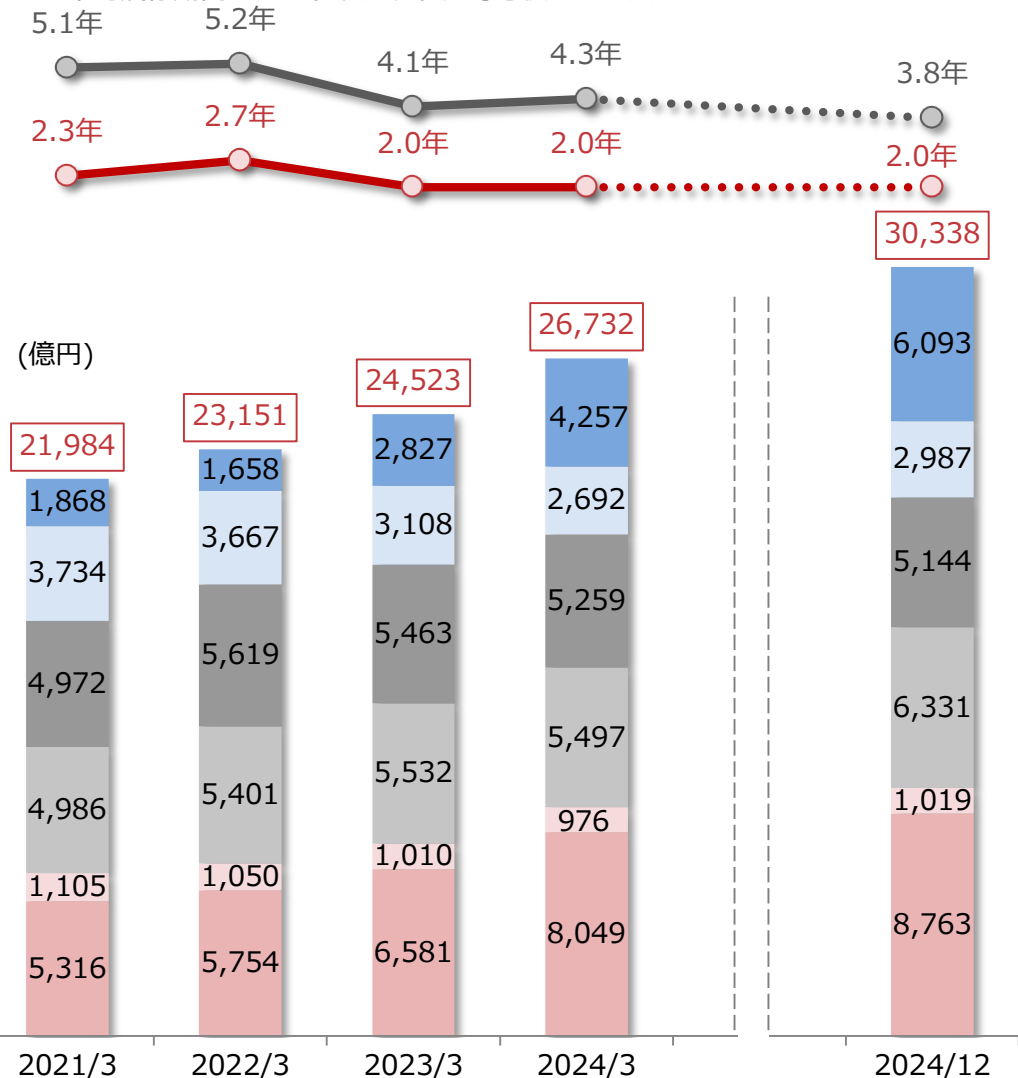


## 預金末残



## 有価証券未残※1・平均残存期間※2

※1 未残は評価損益を除くベース  
 ※2 平均残存期間はアセットスワップ考慮後のベース



【2024/3末比】

円債  
平均残存期間  
△0.4年

外債  
平均残存期間  
+0.0年

〔合計〕 +13.4%

国債  
+43.0%

地方債  
+10.9%

社債等  
△2.1%

投信等  
+15.1%

株式  
+4.3%

外貨建有価証券  
+8.8%

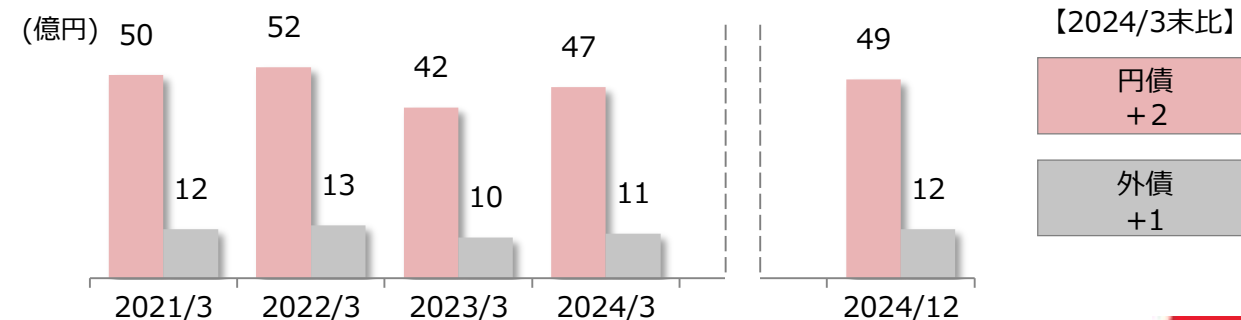
■うち満期保有目的

78	86	93	30	15
----	----	----	----	----

## 有価証券関連損益

(億円)	2024/3 1-3Q	2025/3 1-3Q	前年同期比
有価証券利息	414	512	97
債券	208	288	79
国内業務部門	32	54	22
国際業務部門	176	234	57
株式	107	117	10
投信等	97	105	7
うち投信解約損益	22	21	△1
国債等債券損益	△49	△14	34
うち売却益	9	7	△1
うち売却損(△)	56	15	△41
うち償却(△)	2	7	5
株式等関係損益	86	102	16
うち売却益	95	112	16
うち売却損(△)	9	9	0
うち償却(△)	0	0	△0

## 10BPV



【2024/3末比】

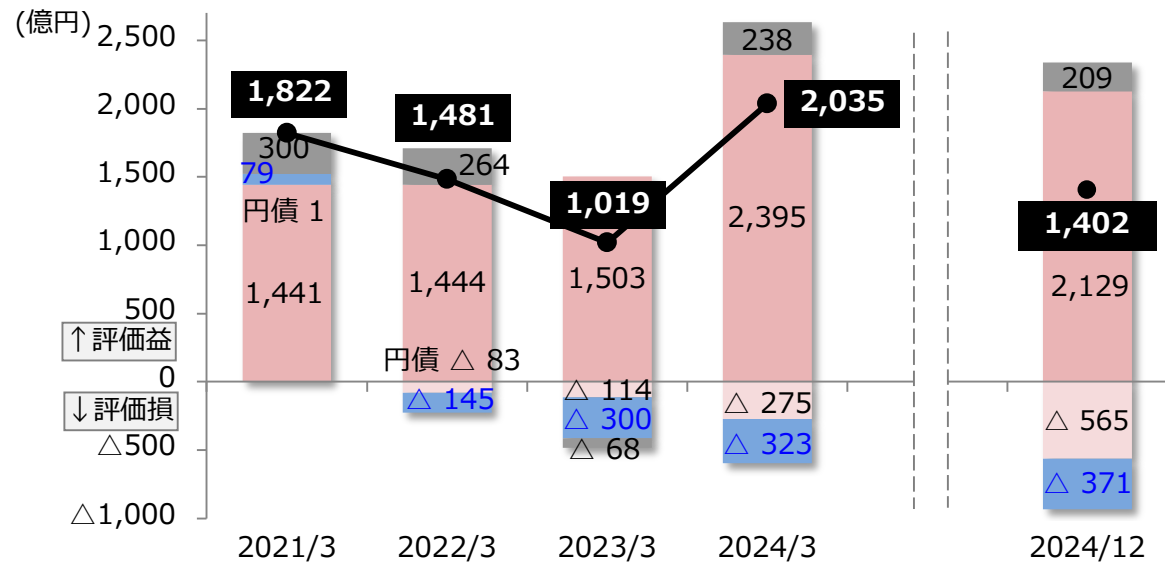
円債  
+2

外債  
+1



その他有価証券評価損益

※海外CDを含むベース



【2024/3末比】

その他  
△29

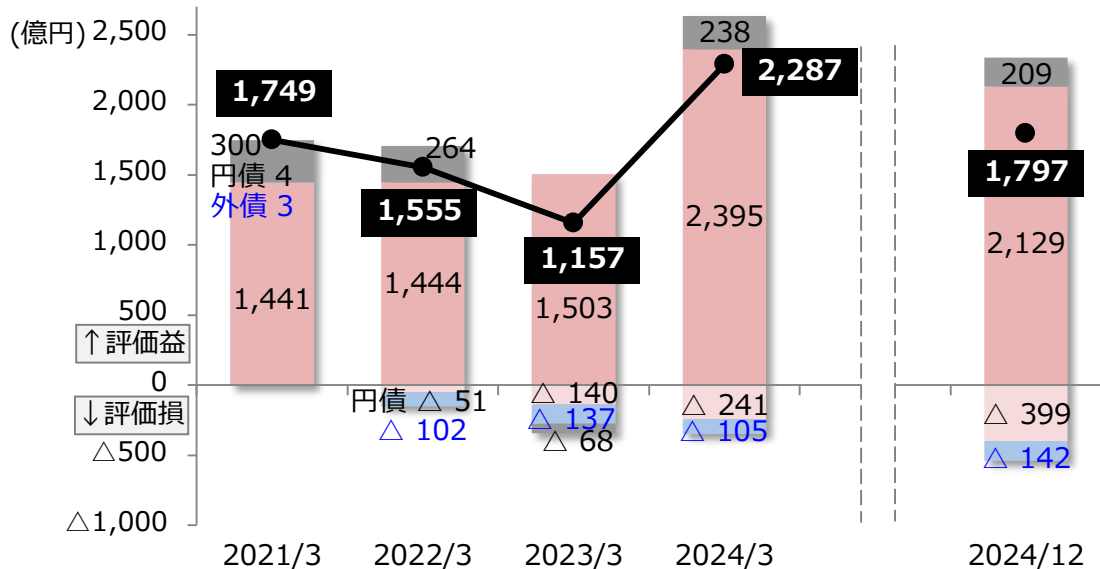
合計  
△633

株式  
△266

円債  
△290

外債  
△48

■繰延ヘッジスワップ評価損益勘案後



【2024/3末比】

その他  
△29

合計  
△489

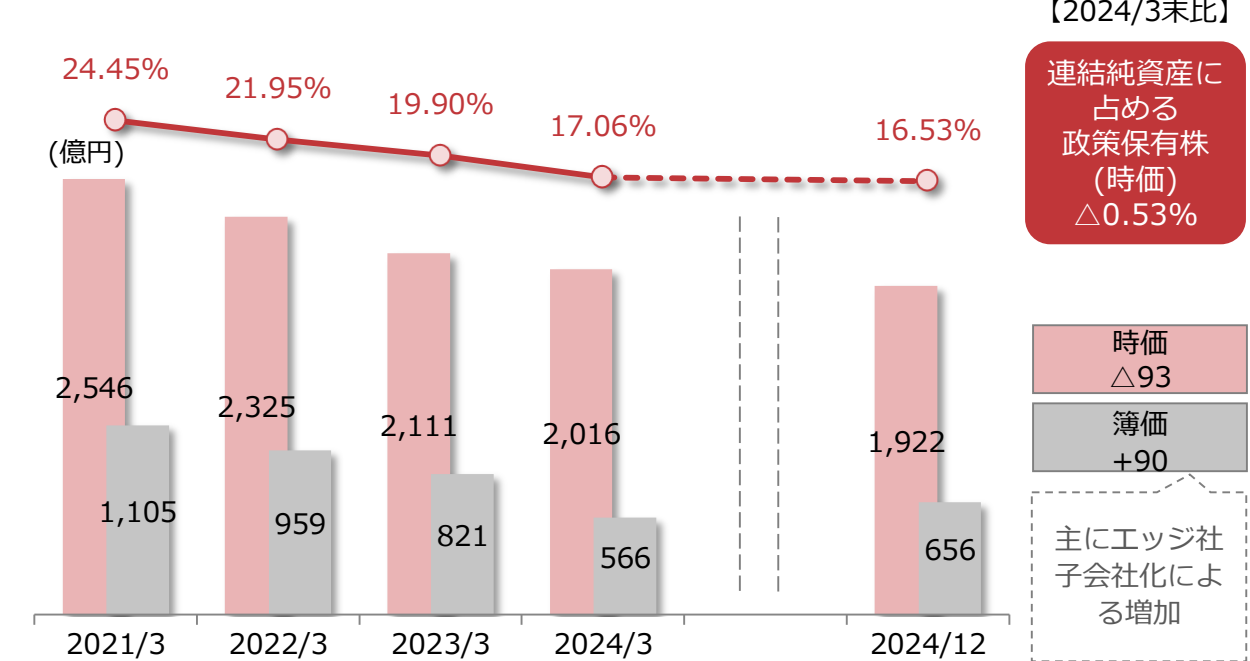
株式  
△266

円債  
△157

外債  
△36

連結純資産に占める政策保有株式

※政策保有株式は単体ベース



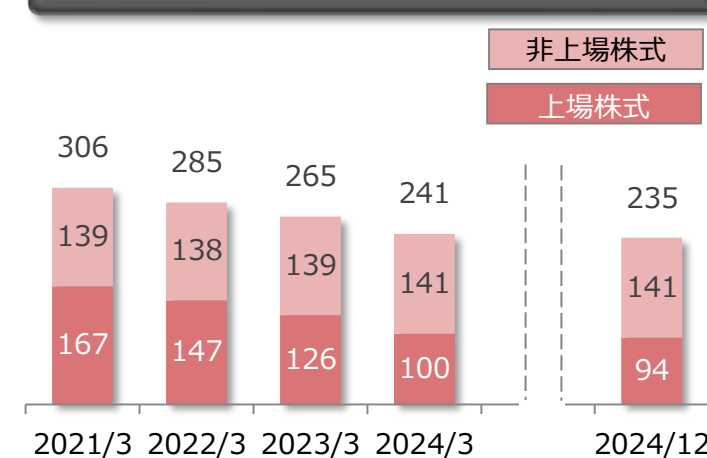
【2024/3末比】  
連結純資産に占める政策保有株 (時価)  
△0.53%

時価  
△93

簿価  
+90

主にエッジ子会社化による増加

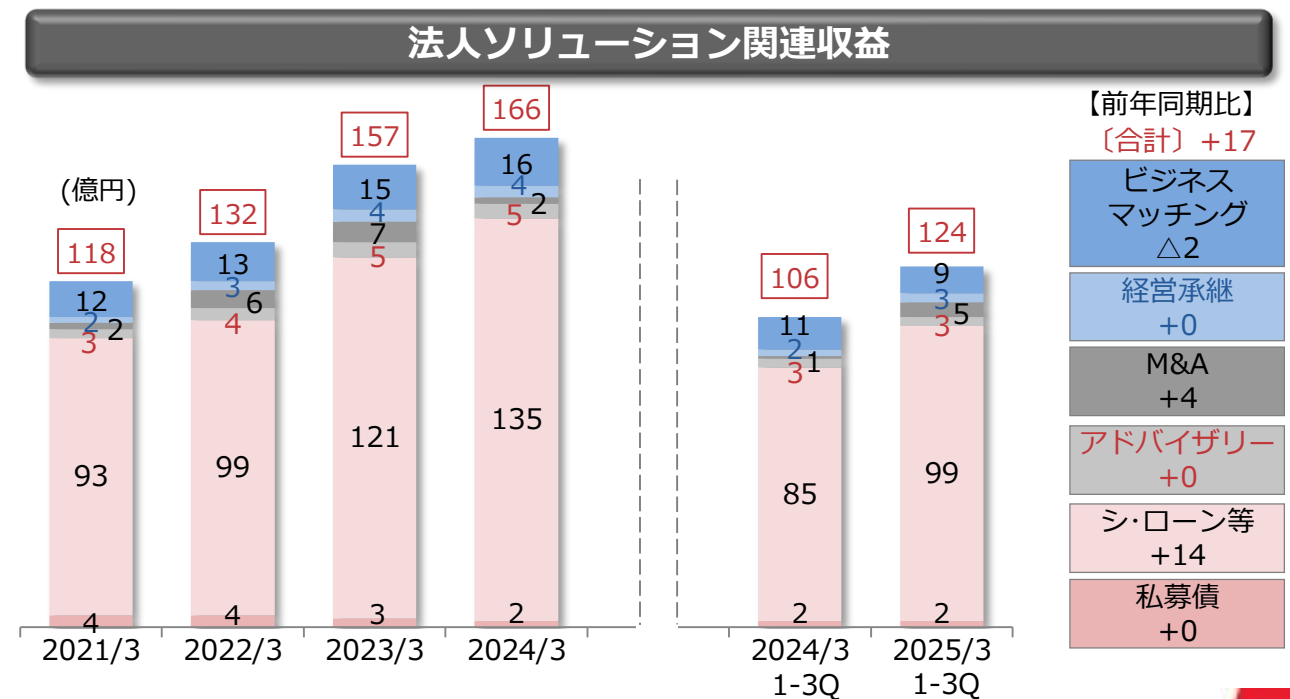
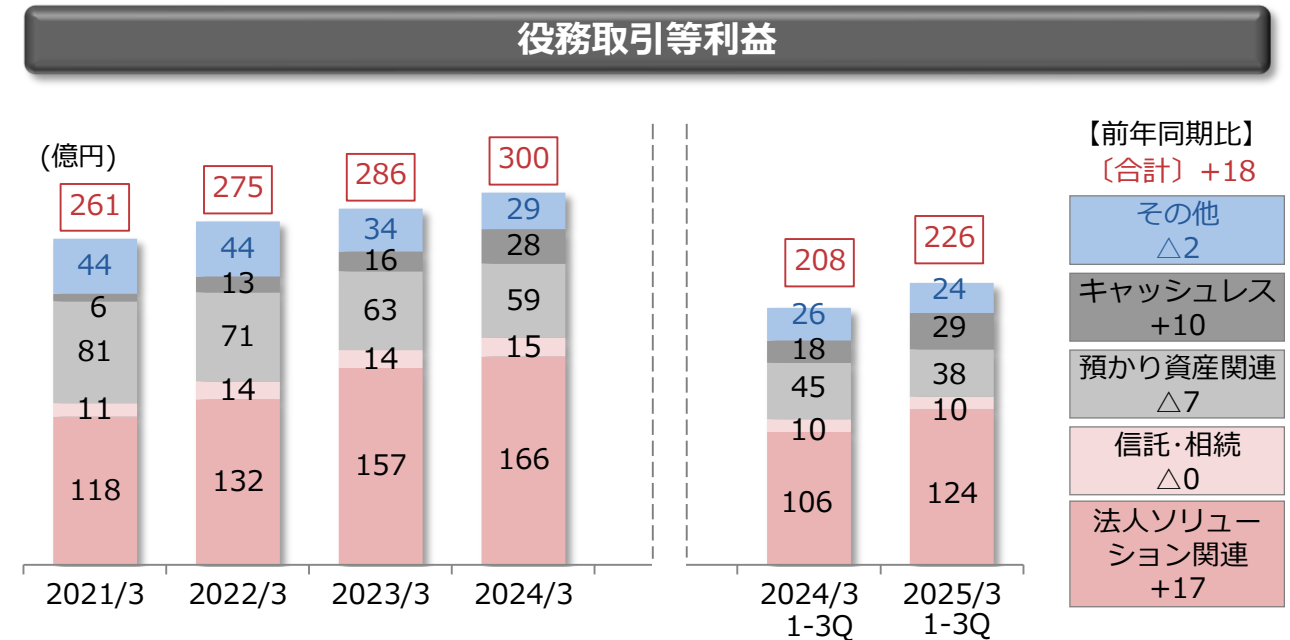
政策保有株式・保有銘柄数



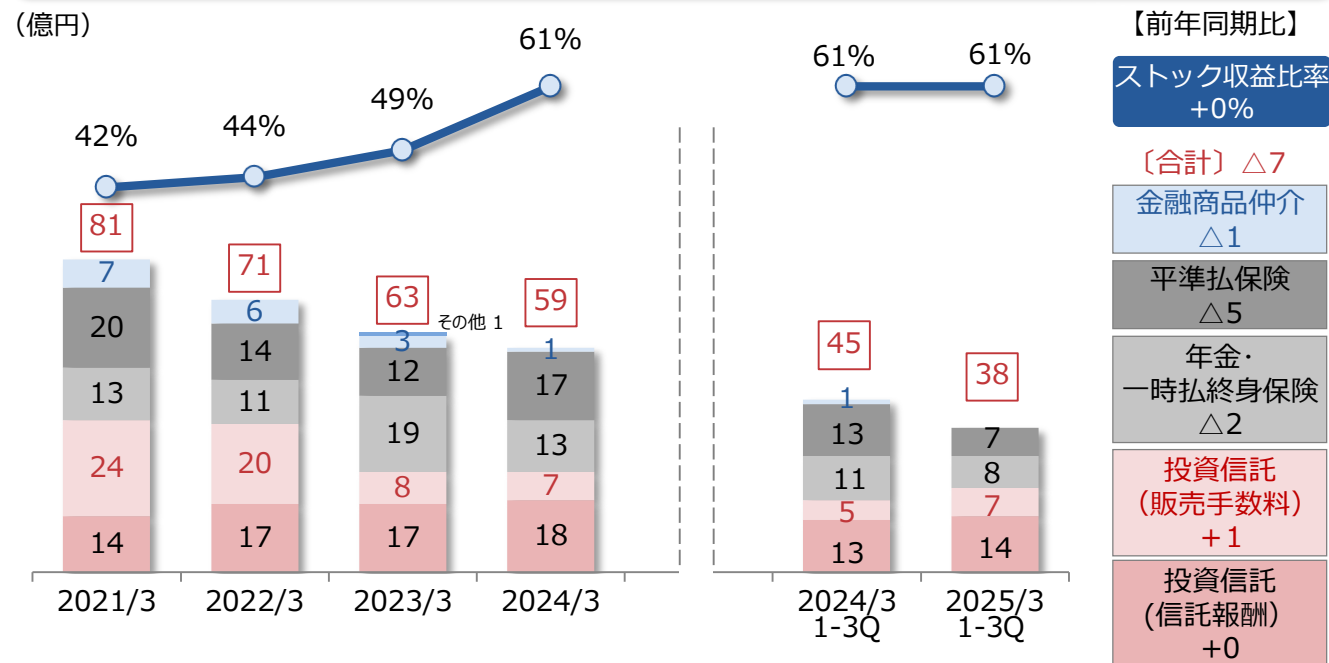
純投資株式の保有状況

	2024/3	2024/12	2024/3比増減
時価 (億円)	1,356	1,226	△129
簿価 (億円)	410	362	△47
銘柄数	42	30	△12

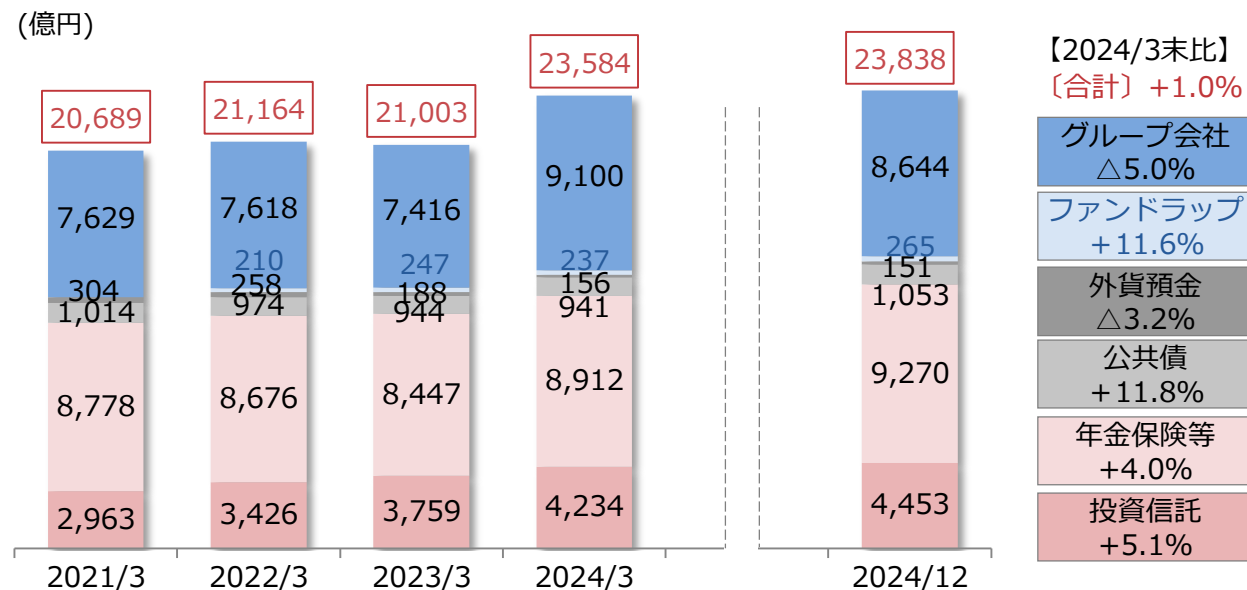
	(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
役務取引等利益		208	226	18
役務取引等収益		376	415	38
役務取引等費用 (△)		168	189	20
＜主な内訳＞				
うち預かり資産関連		45	38	△ 7
うち投信手数料 (信託報酬)		13	14	0
うち投信手数料 (販売手数料)		5	7	1
うち年金・一時払終身保険手数料		11	8	△ 2
うち平準払保険手数料		13	7	△ 5
うち金融商品仲介手数料		1	-	△ 1
うち法人ソリューション関連		106	124	17
うち私募債		2	2	0
うちシ・ローン等		85	99	14
うちアドバイザー手数料		3	3	0
うちM&A手数料		1	5	4
うち経営承継アドバイザー手数料		2	3	0
うちビジネスマッチング手数料		11	9	△ 2
うち信託・相続関連		10	10	△ 0
うちキャッシュレス関連		18	29	10
うち為替関連		96	98	1
うちローン支払保険料・保証料 (△)		98	104	5



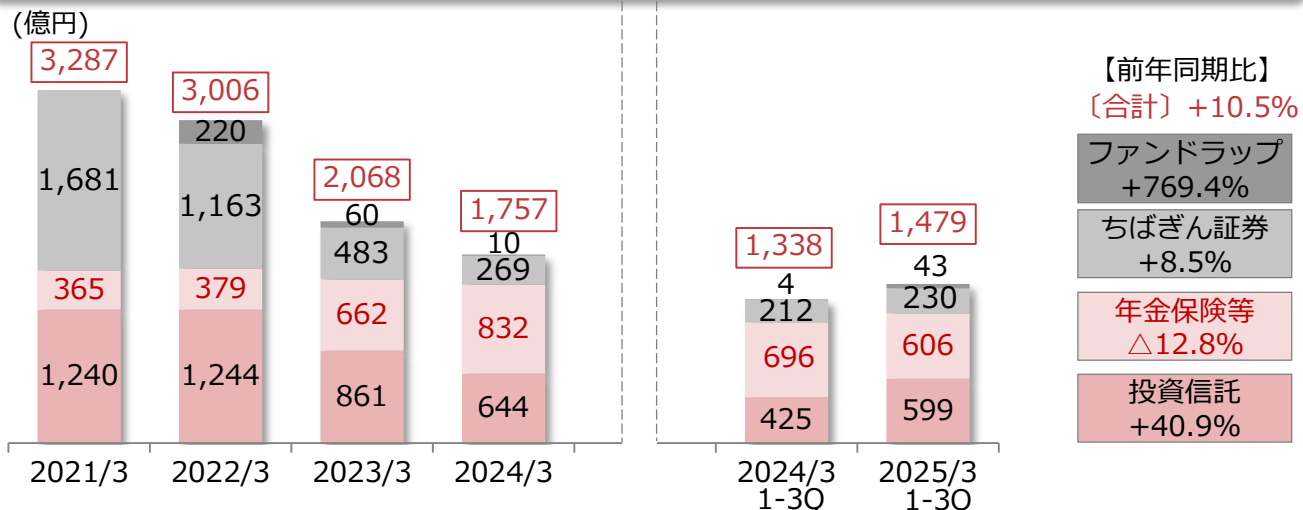
預かり資産関連収益



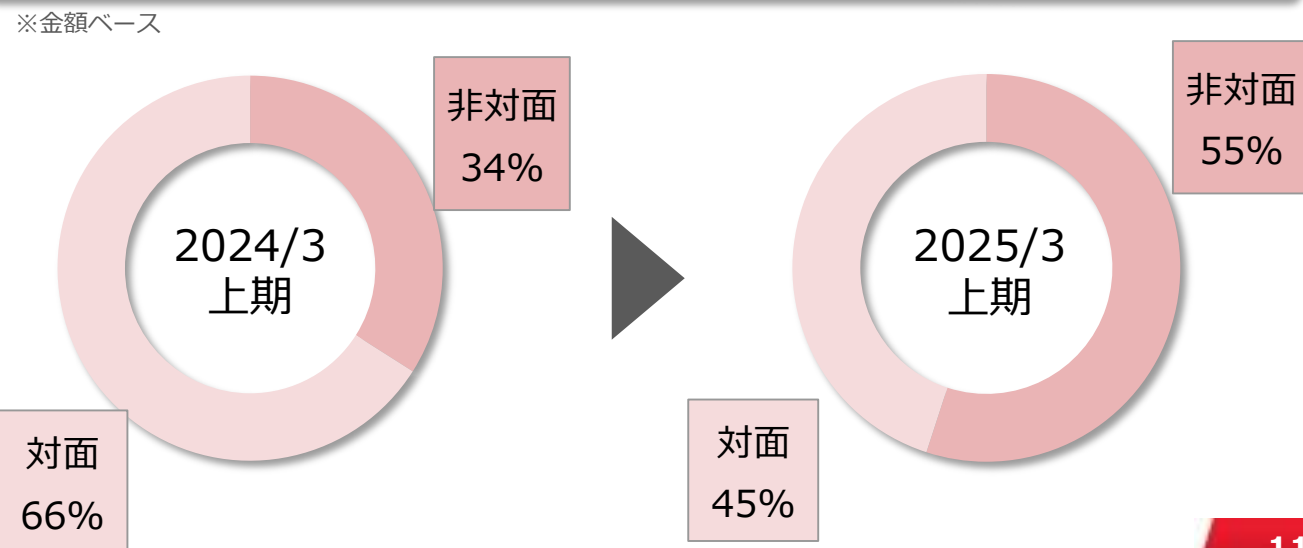
預かり資産残高 (グループ合計)



預かり資産販売額 (グループ合計)



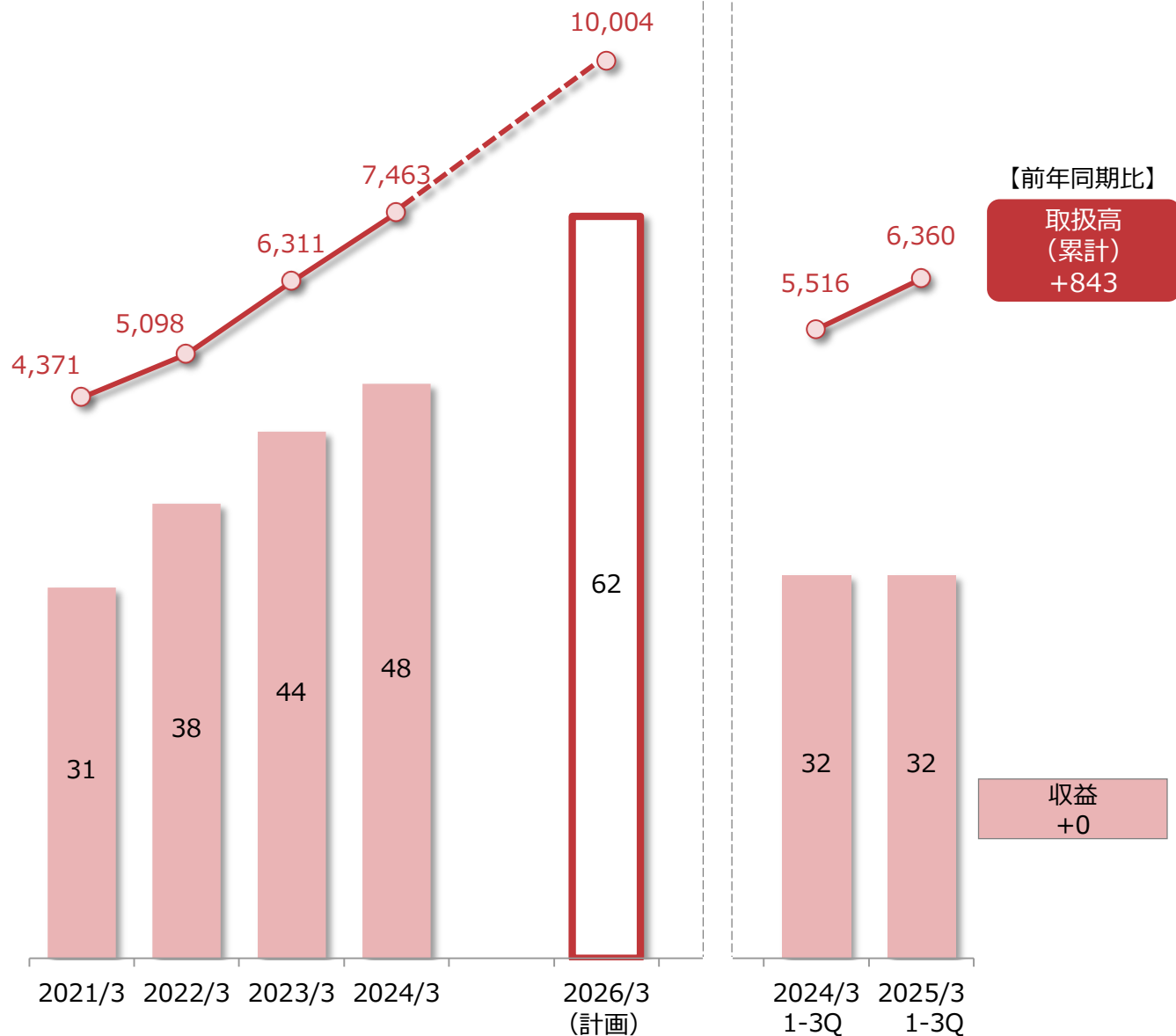
チャンネル別 投資信託販売



※2025/3期3Qより、ちばぎん証券販売額にコールセンター等の販売額を含む

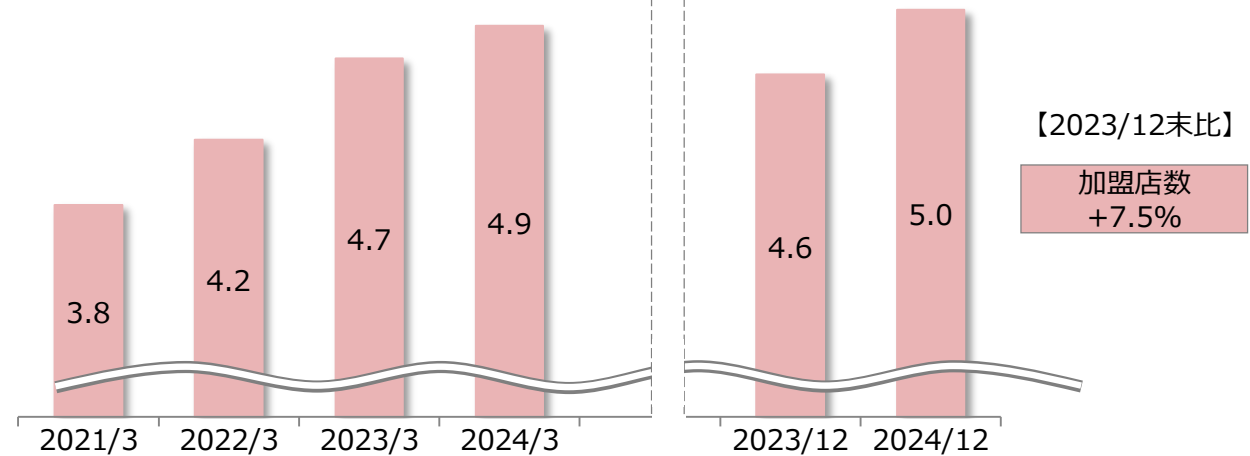
グループ キャッシュレス収益・取扱高

(億円)



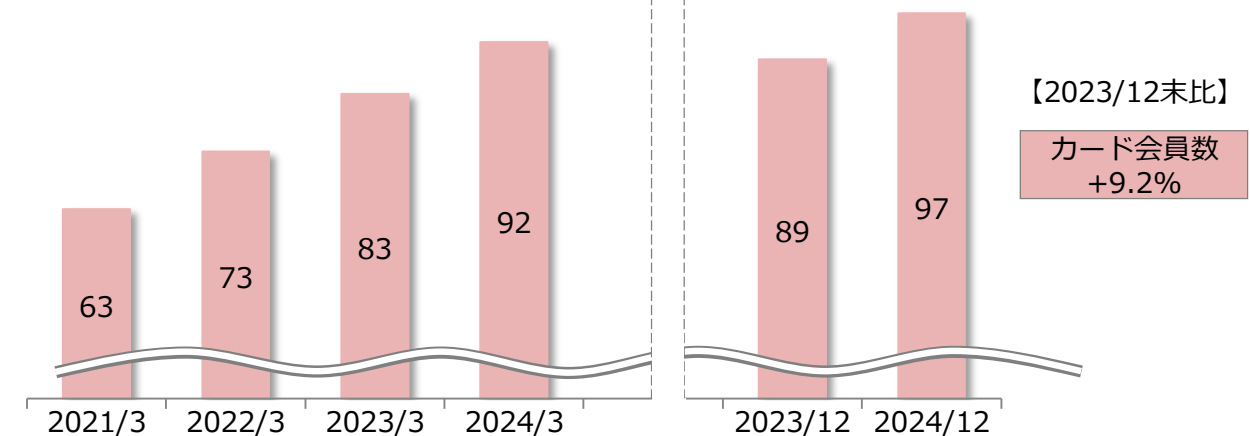
グループ 加盟店数

(万先)



グループ カード会員数

(万先)

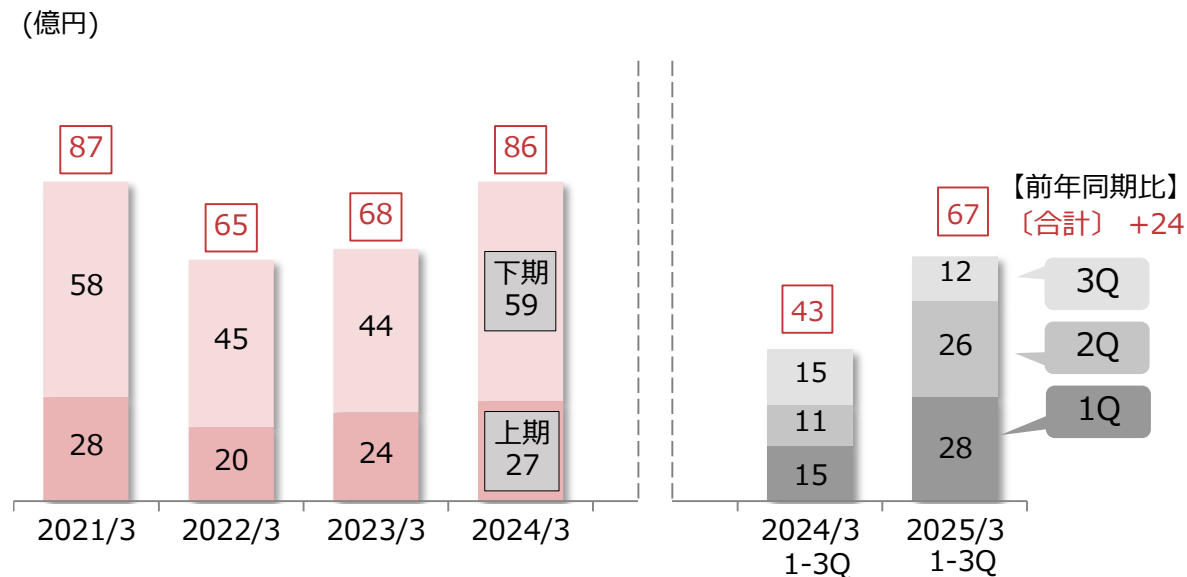


※グループ会社の収益は、銀行本体（役務利益）と同じ基準で算出

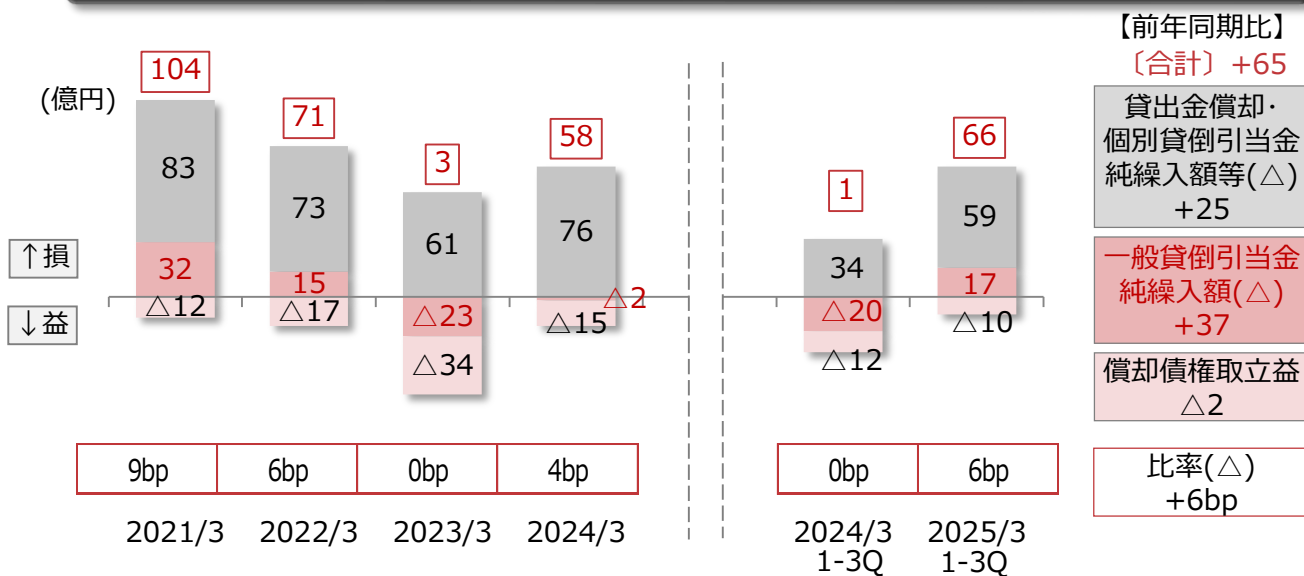
与信関係費用

(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
与信関係費用 (△)	1	66	65
一般貸倒引当金純繰入額 (△)	△ 20	17	37
不良債権処理額 (△)	22	49	27
貸出金償却・個別貸倒引当金純繰入額等 (△)	34	59	25
うち個別貸倒引当金純繰入額 (△)	3	9	6
うち新規発生 (△)	43	67	24
うち既先 (△)	2	2	0
うち回収等	10	10	△ 0
償却債権取立益	12	10	△ 2
与信費用比率 (△)	0bp	6bp	6bp

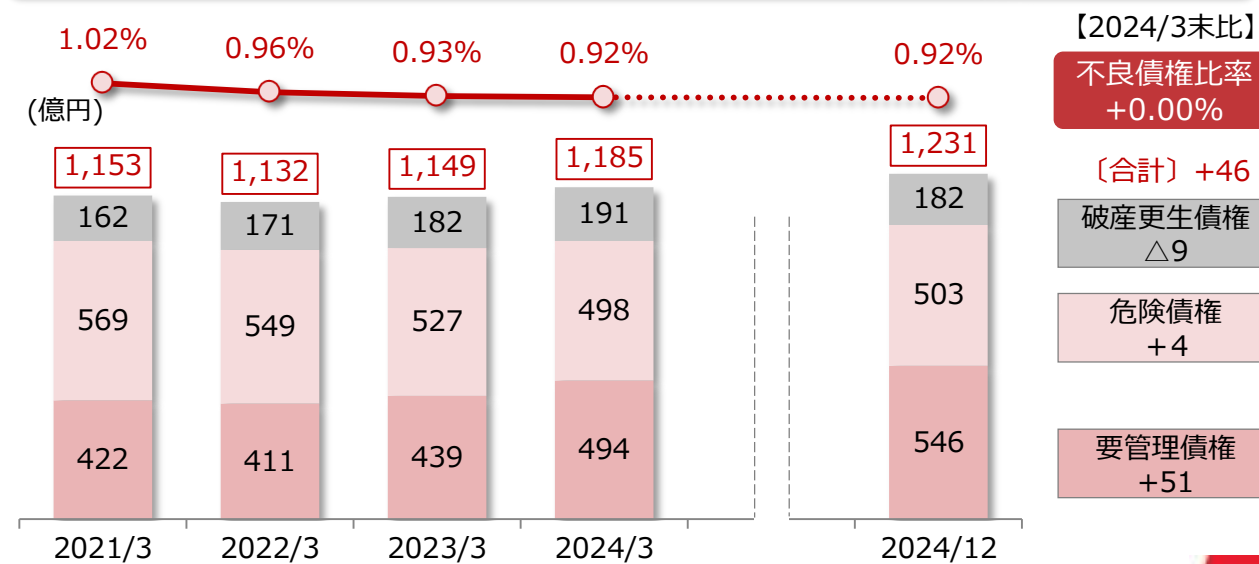
不良債権 新規発生



与信関係費用(△) 推移



金融再生法開示債権・不良債権比率



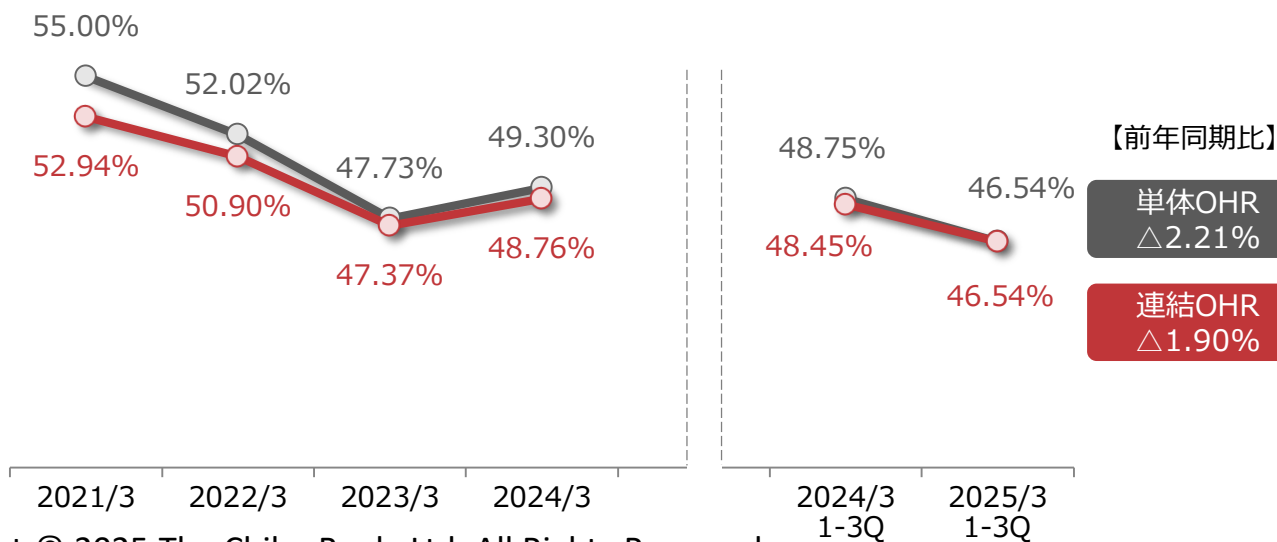
## 経費・OHR

単体	(億円)	2024/3	2025/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
経費		633	669	36
人件費		303	313	9
物件費		281	304	23
税金		48	51	3
OHR		48.75%	46.54%	△2.21%

連結	OHR	2024/3	2025/3	前年同期比
		48.45%	46.54%	△1.91%

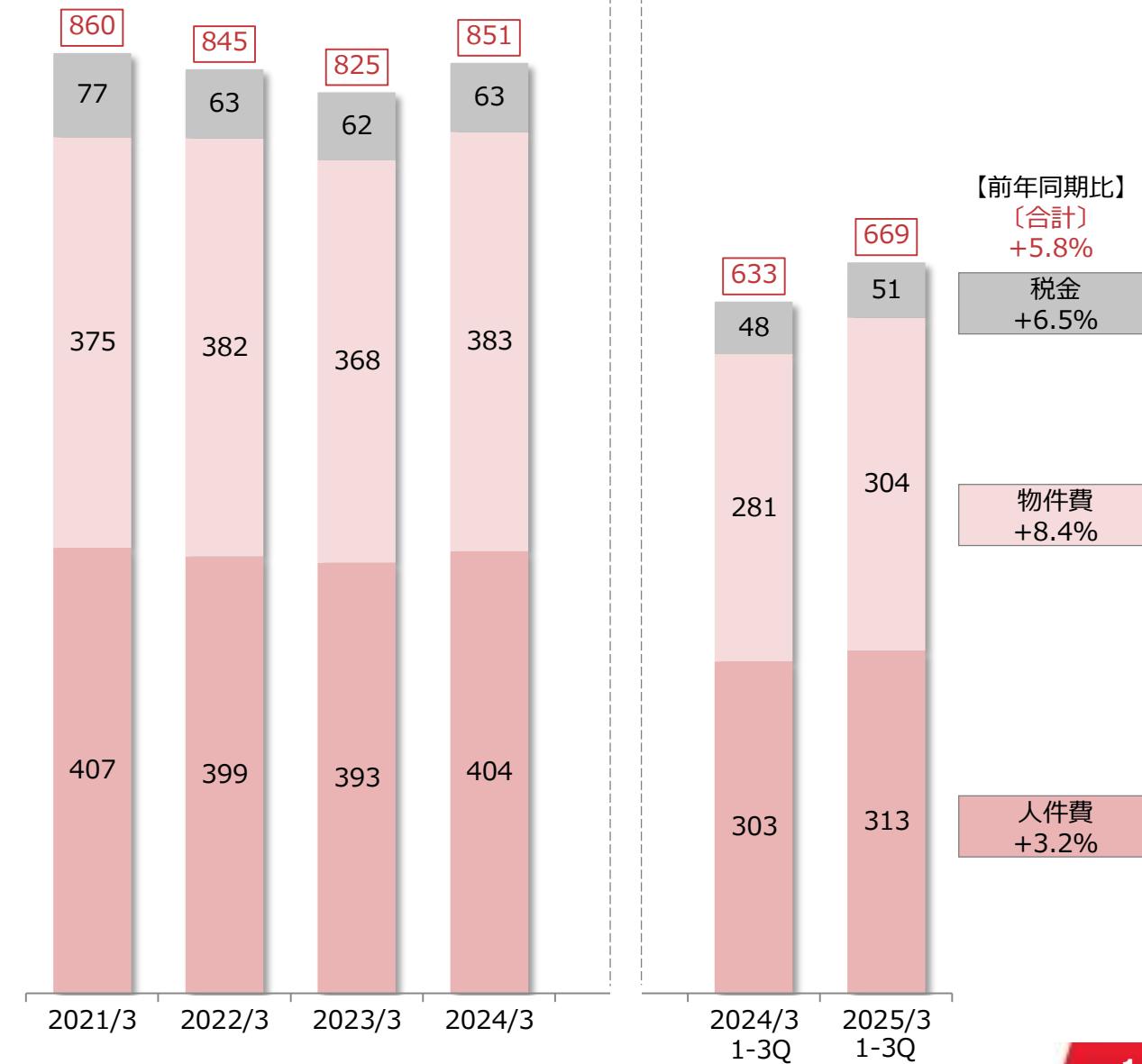
※ OHR : 経費 ÷ (業務純益 - 債券関係損益等 + 一般貸倒引当金繰入額 + 経費)

## OHR推移

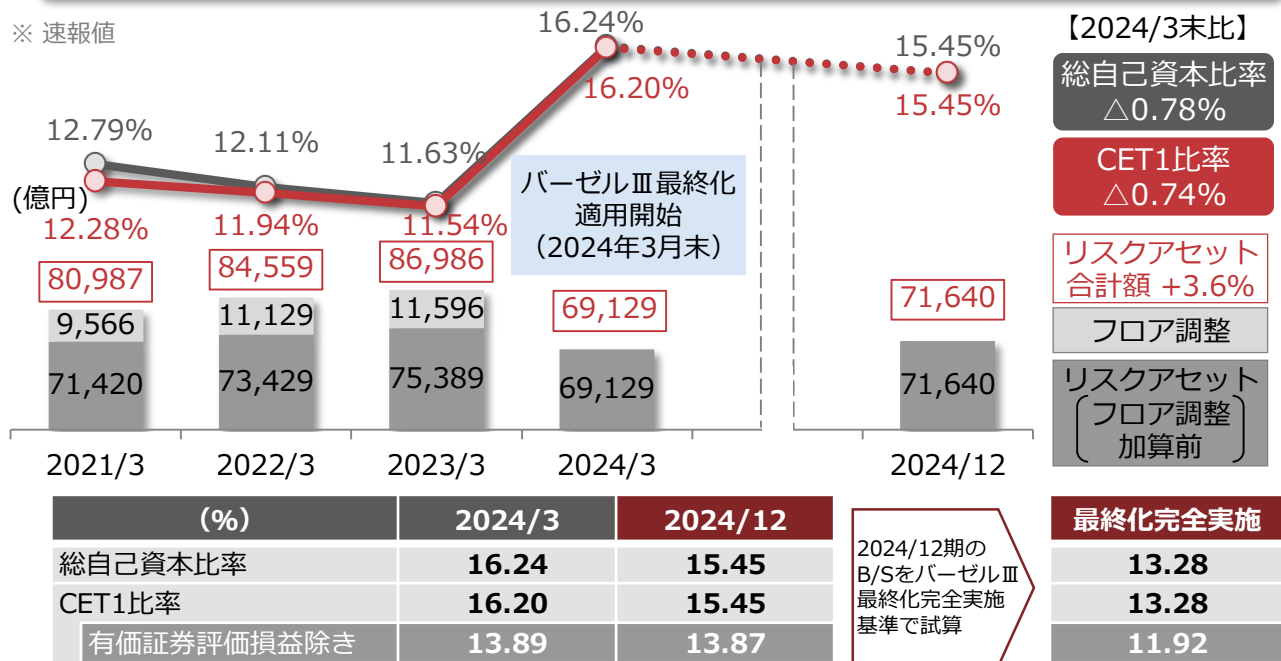


## 単体 経費推移

(億円)

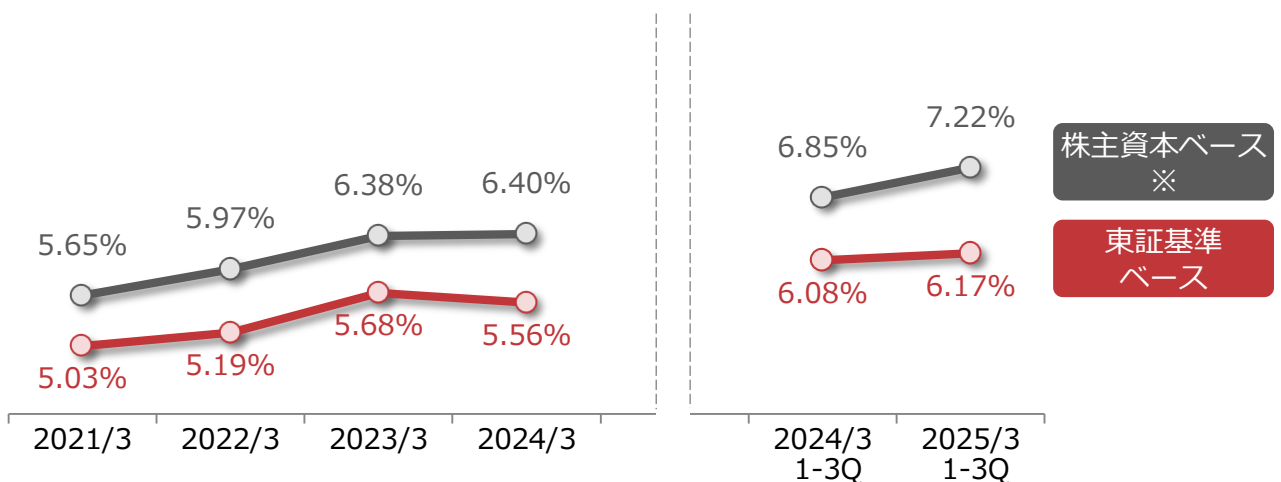


## 連結 自己資本比率・リスクアセット額

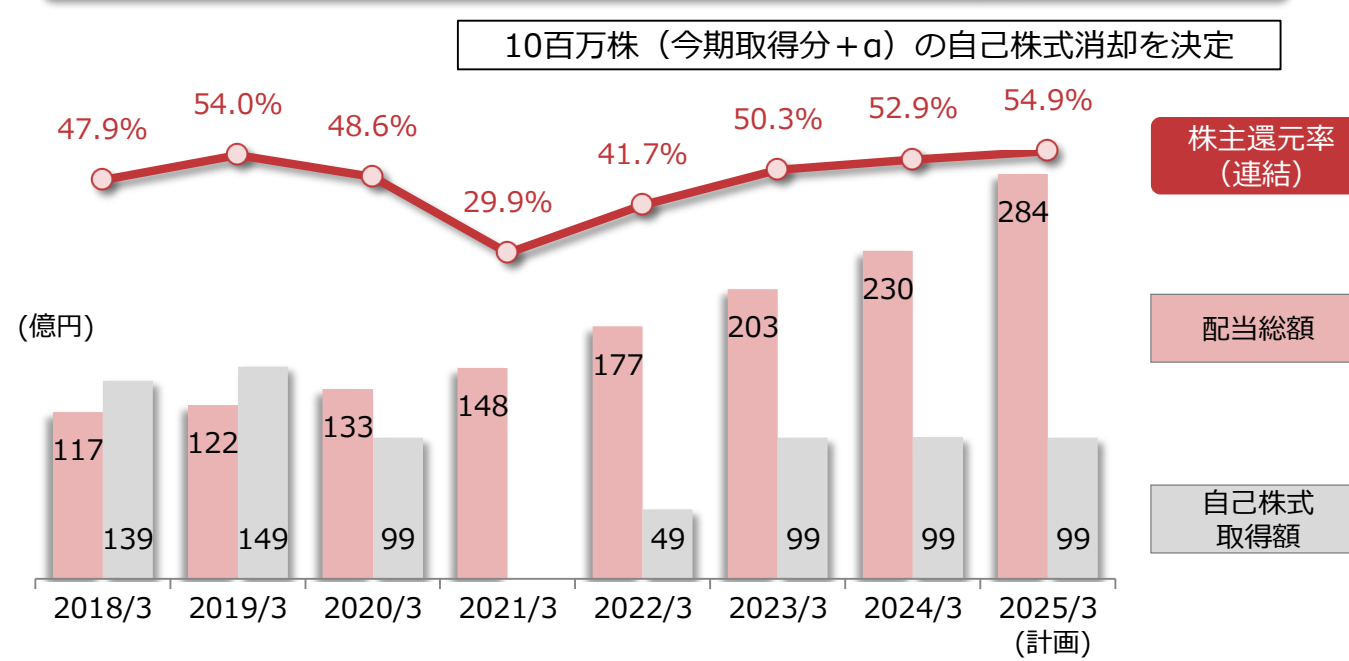


## 連結ROE

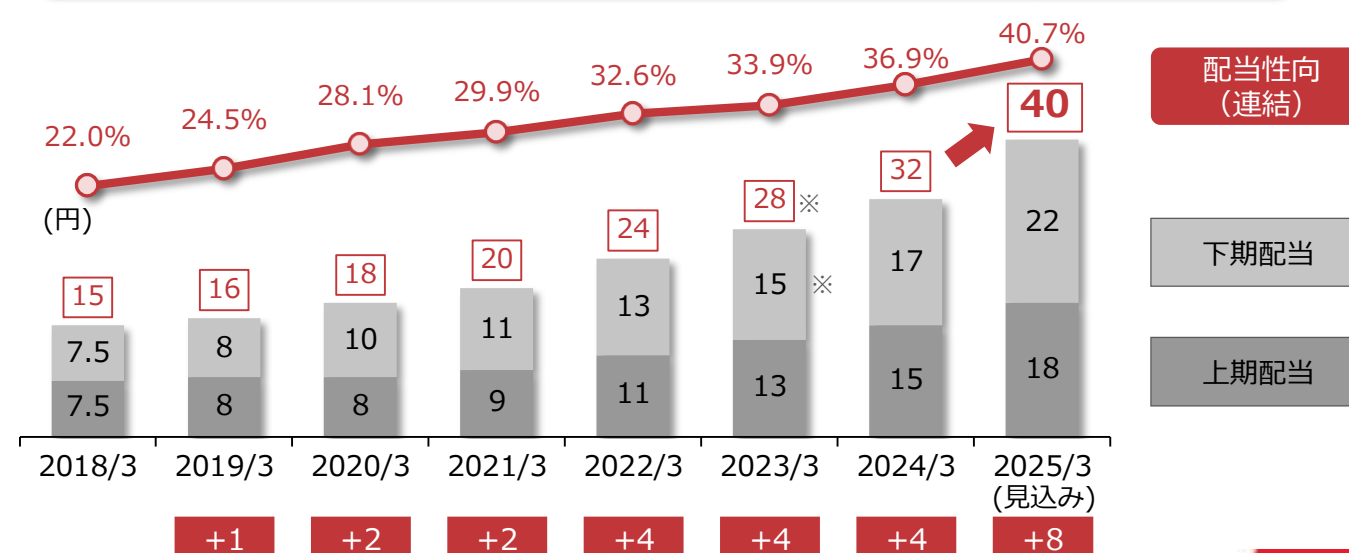
※評価損益変動の影響を受けないB/S上の「株主資本合計」ベース



## 株主総還元

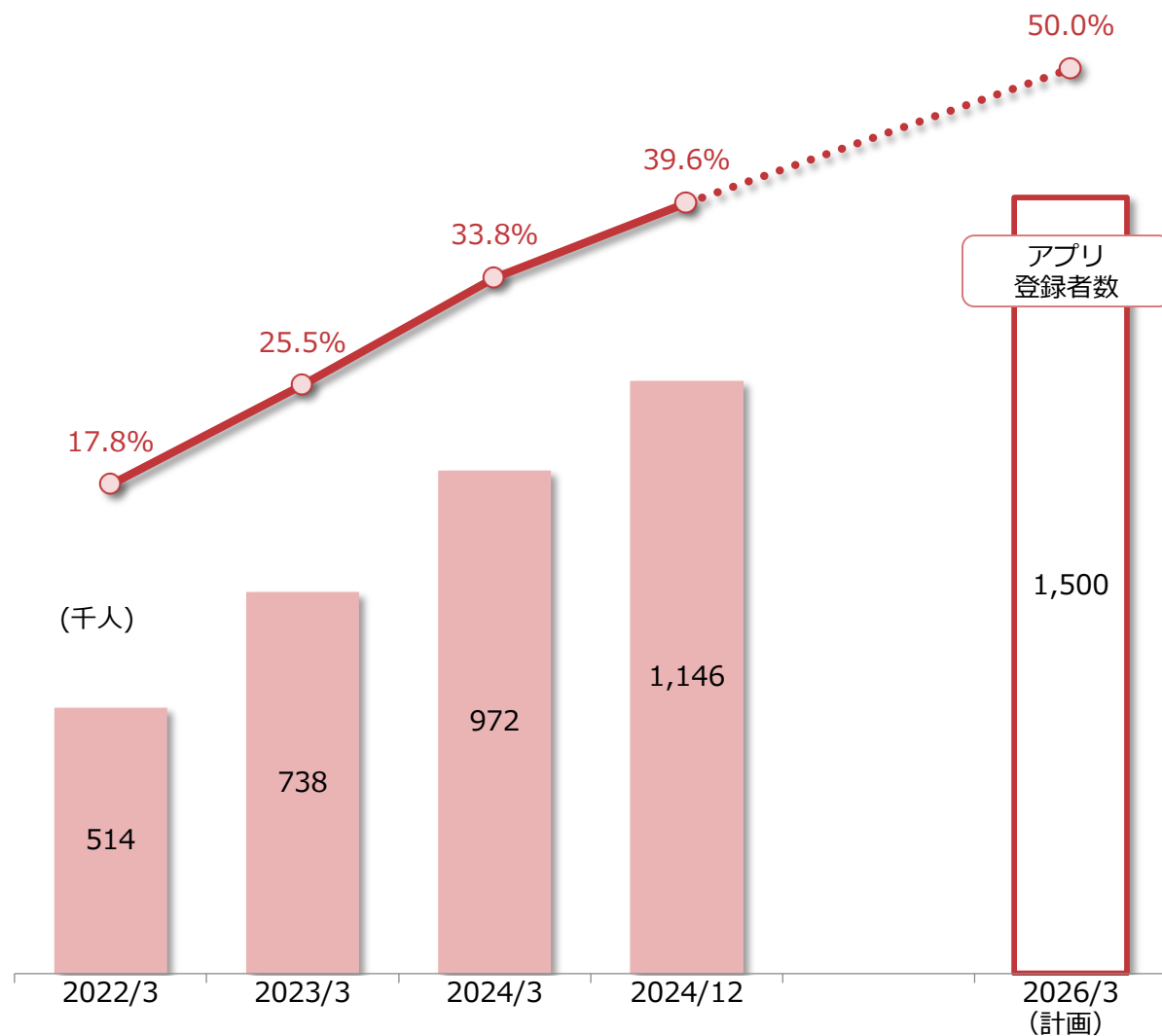


## 株主配当



## アプリ登録者数・浸透率

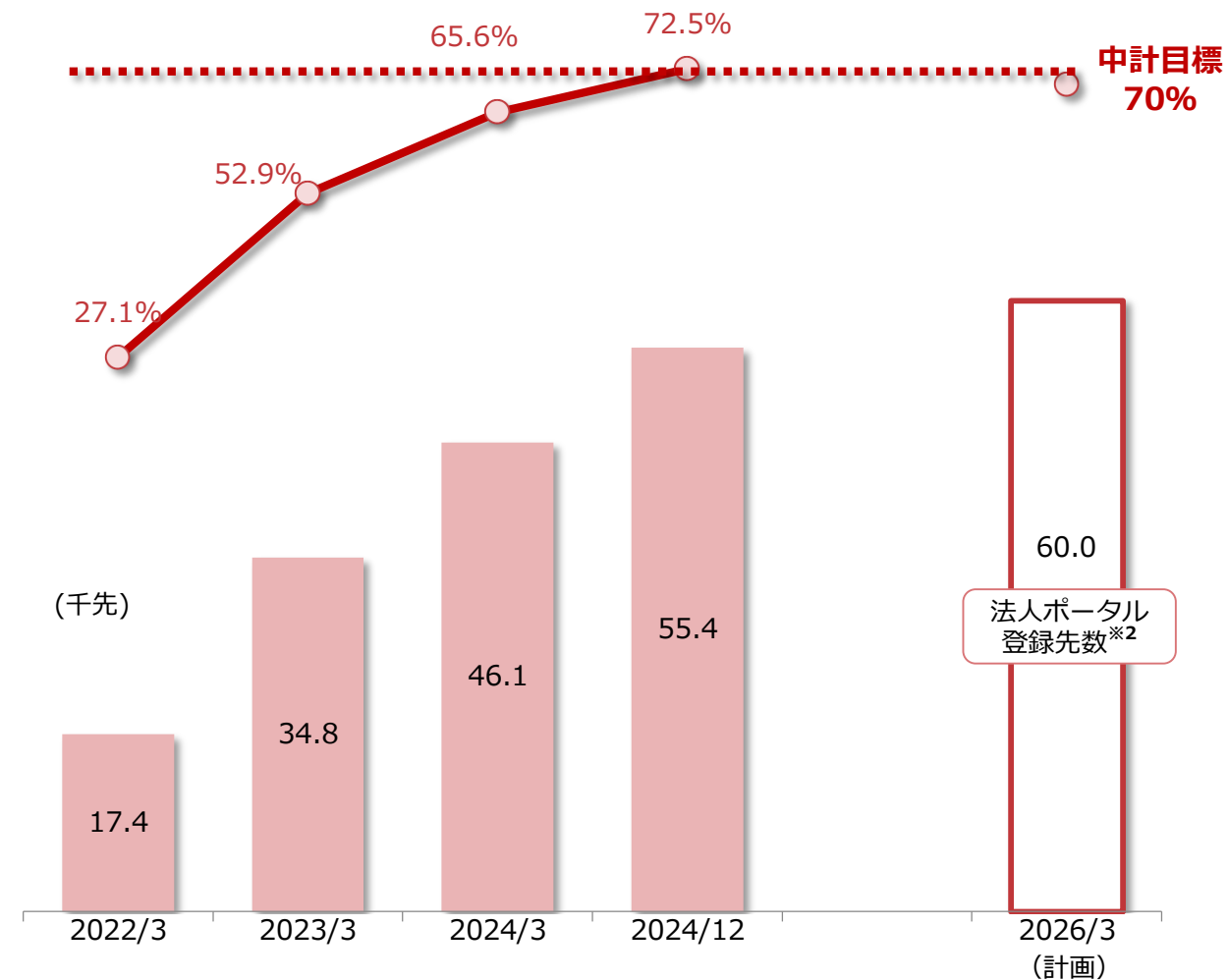
アプリ浸透率※



※ちばぎんアプリ登録者数÷個人の稼働顧客先数

## ポータル登録先数・融資先浸透率

融資先ポータル浸透率※1



※1 融資先の法人ポータル登録先数÷法人融資先数

※2 法人ポータルへのログイン履歴がない先を除いた件数を記載



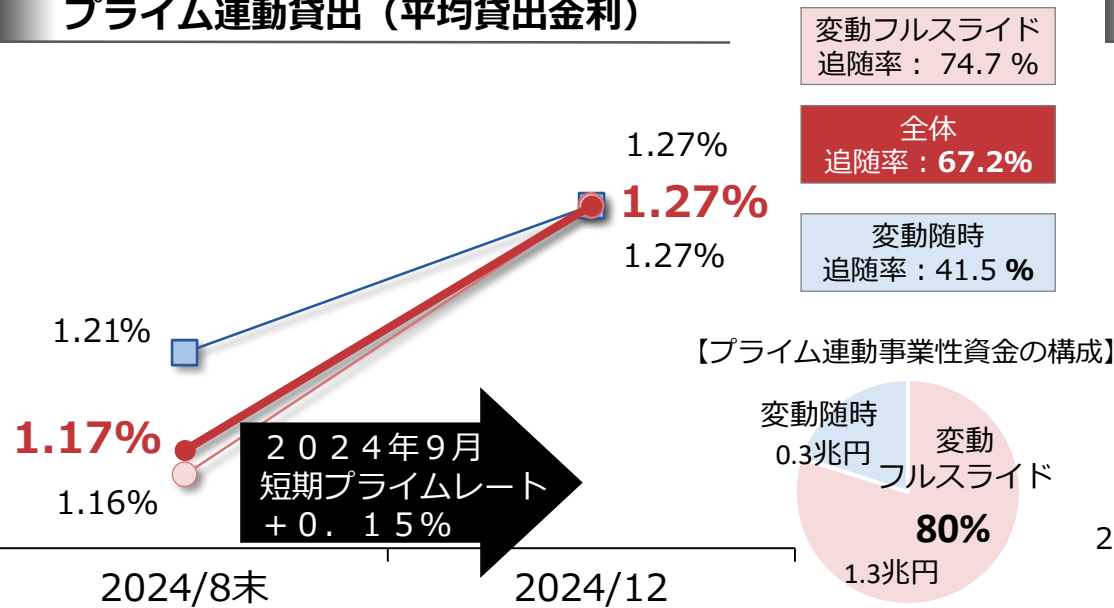
# 補足資料



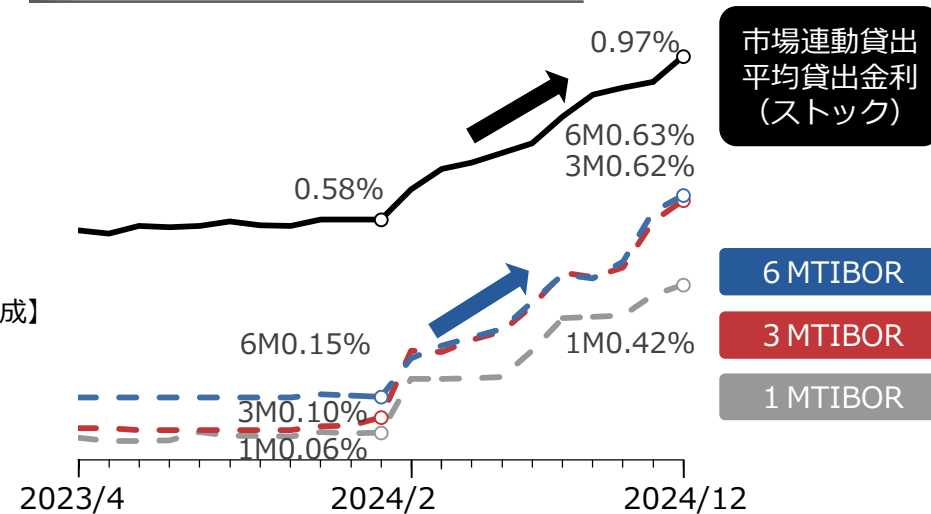
政策金利上昇に伴い、貸出金利は着実に上昇。金利感応度に関わらず、すべての貸出金利は上昇。

## 事業性貸出の利回り改善

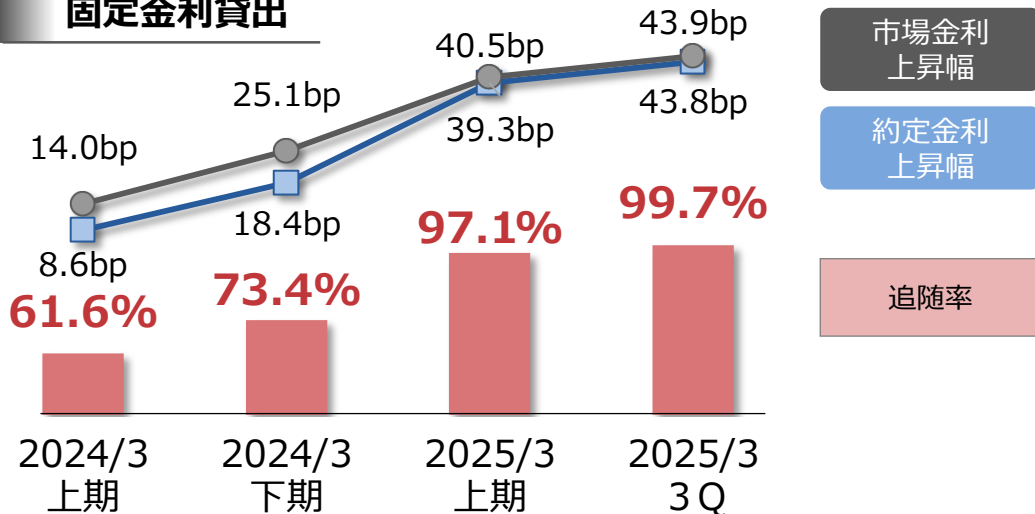
### プライム連動貸出 (平均貸出金利)



### 市場連動貸出 (平均貸出金利)



### 固定金利貸出

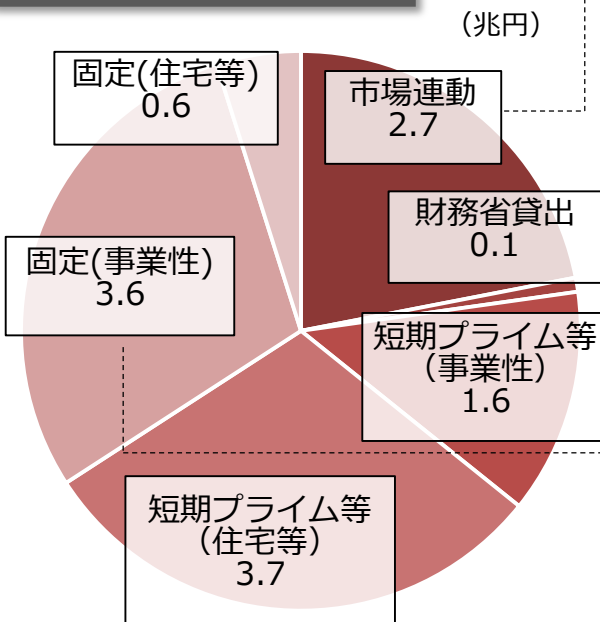


(2025年1月~)  
短期プライムレート上昇の  
約定利率への反映

貸出ポートフォリオのうち  
約3割を占める住宅ローン  
変動金利貸出の金利が上昇

### 円貨貸出金残高

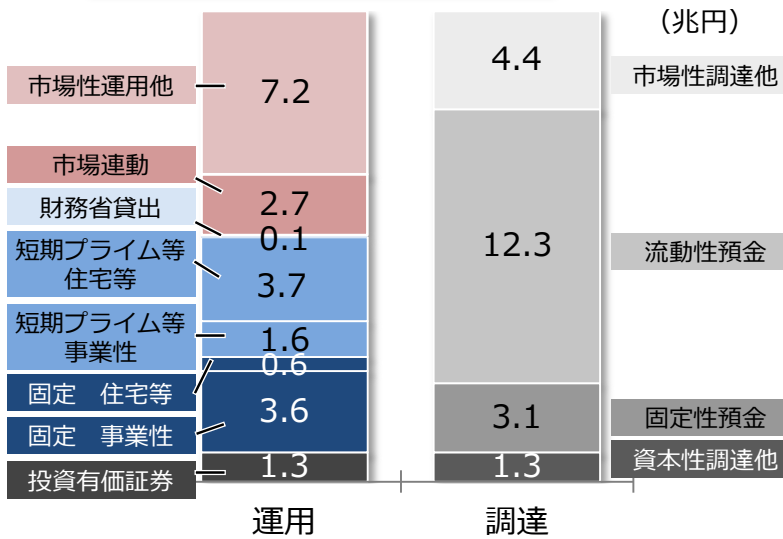
2024/12末残 12.6兆円



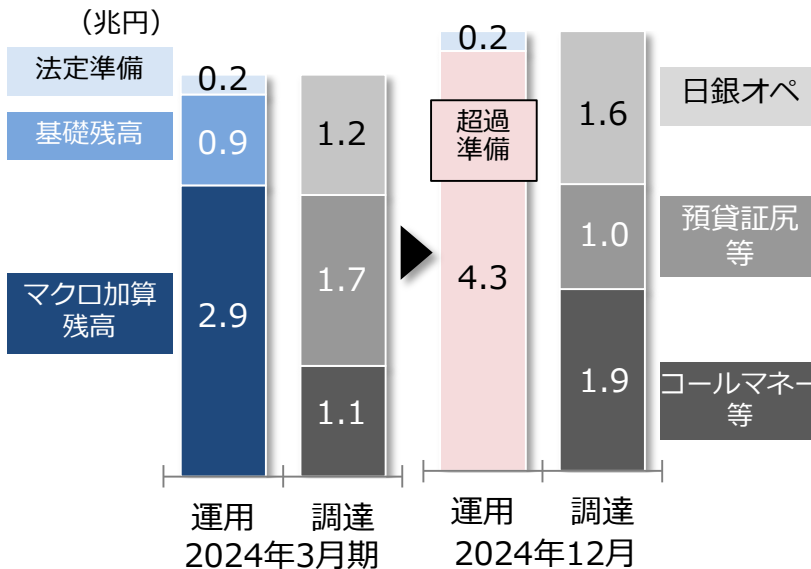
## 日銀の政策金利変更に伴う利上げ効果を試算

### 円貨 運用・調達構造

2024/12末残 **21.2兆円**



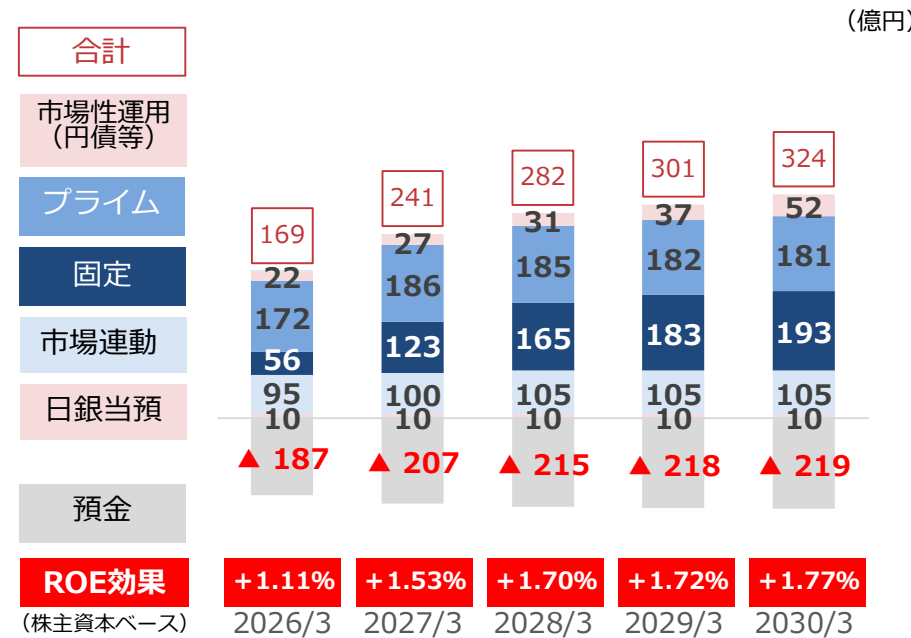
### 日銀当座預金 運用・調達構造の変化



### ① 現行金利によるシミュレーション

現在の政策金利横ばい  
(2025年1月～政策金利0.50%)

2025年3月期業績計画に対する増益効果（円貨資金利益）

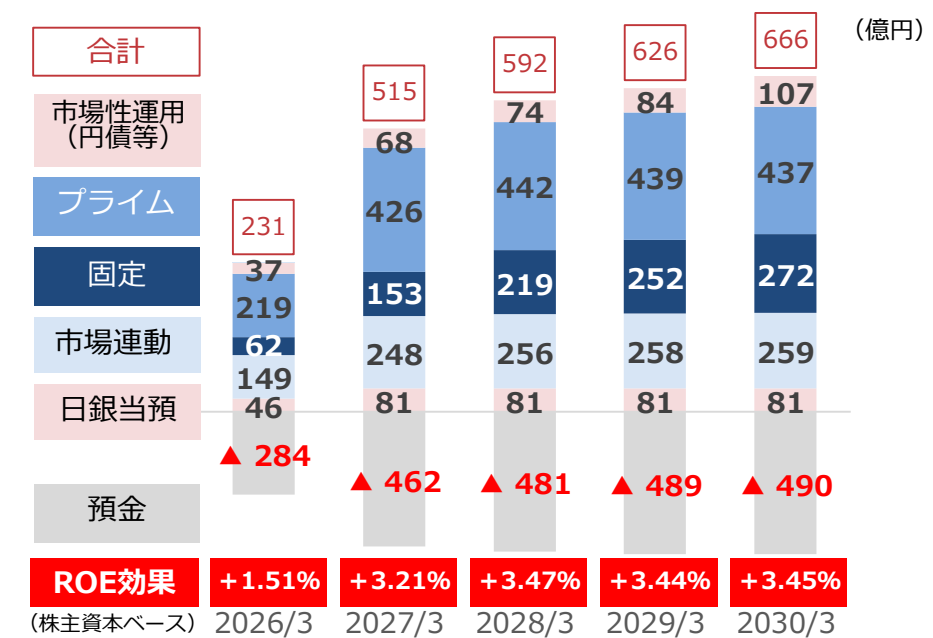


- ボリューム増加による効果は上記試算に含まれていない
- 日銀当座預金特別付利の剥落影響を含む
- 国債10年利回り1.2%まで上昇
- TIBOR（2025年1月以降）2024年9月平均金利+0.25%の水準
- 短期プライムレート(2025年3月以降)現在レート+0.25%
- 2024年12月末のポートフォリオを前提に残高横ばいで試算
- 事業性貸出において固定貸出の追従率60%、プライム貸出の追従率80%
- 預金金利は市場金利の上昇を踏まえた引き上げを想定

### ② ターミナルレート1.0%のシミュレーション

2025年7月に政策金利0.75%へ引き上げ  
2026年1月に政策金利1.00%へ引き上げ

2025年3月期業績計画に対する増益効果（円貨資金利益）

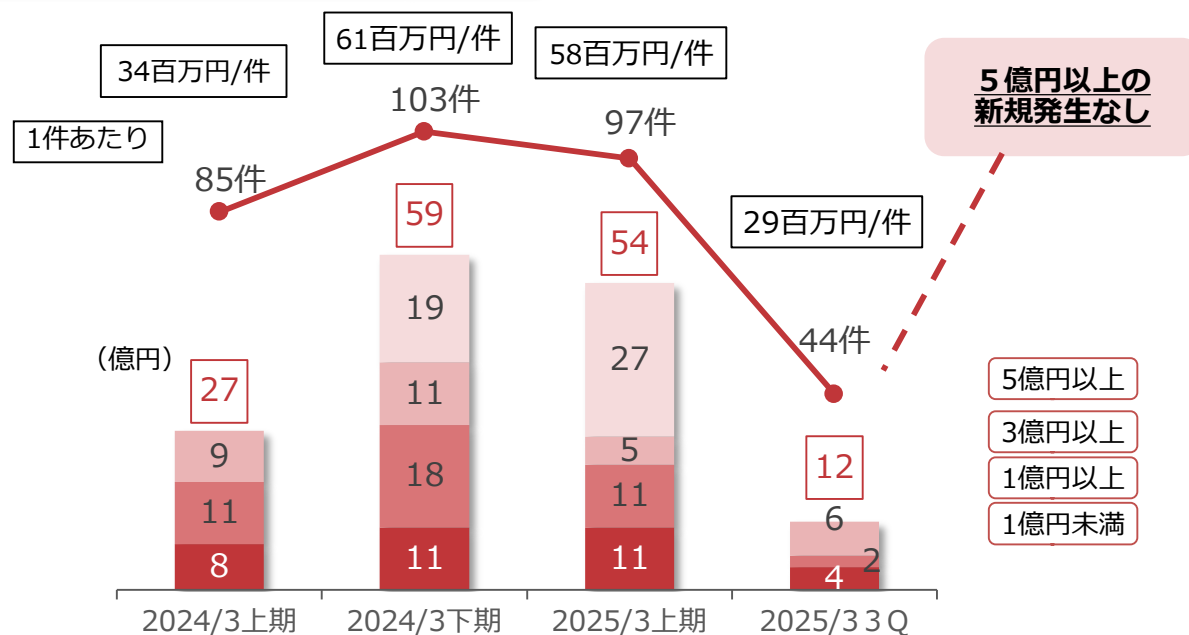


- ボリューム増加による効果は上記試算に含まれていない
- 日銀当座預金特別付利の剥落影響を含む
- 国債10年利回り1.45%まで上昇
- TIBOR（2025年1月以降）2024年9月平均金利+0.25%の水準  
(2025年7月以降) 2024年9月平均金利+0.50%の水準  
(2026年1月以降) 2024年9月平均金利+0.75%の水準
- 短期プライムレート(2025年3月以降)現在レート+0.25%  
(2025年9月以降)現在レート+0.50%  
(2026年3月以降)現在レート+0.75%
- ポートフォリオ前提・追従率の想定はシミュレーション①と同様

3Qの新規発生は低位に抑制。引き続き取引先の実態把握・伴走支援を徹底する。

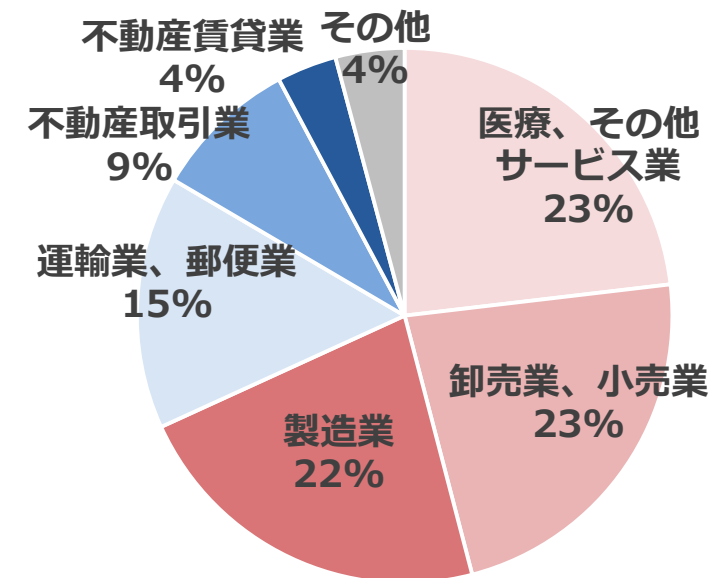
## 新規発生の状況

### 新規発生額（規模・件数・金額）

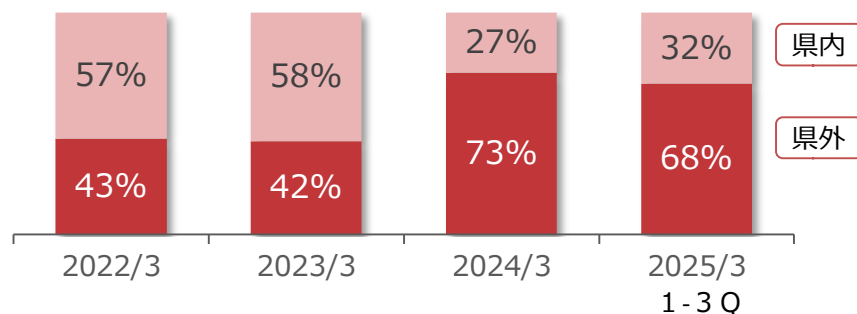


### 業種別（金額）

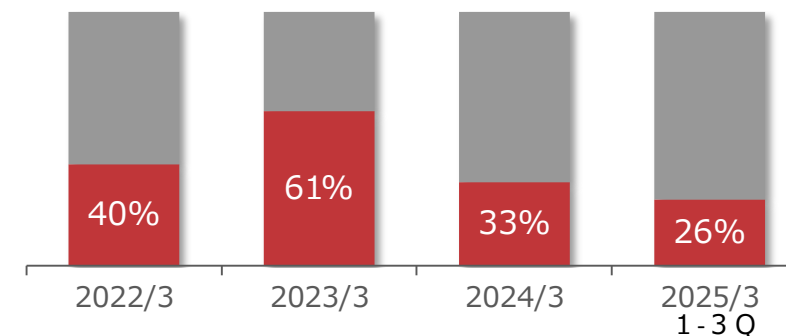
2025年3月期 1Q～3Q累計



### 地域別（金額）



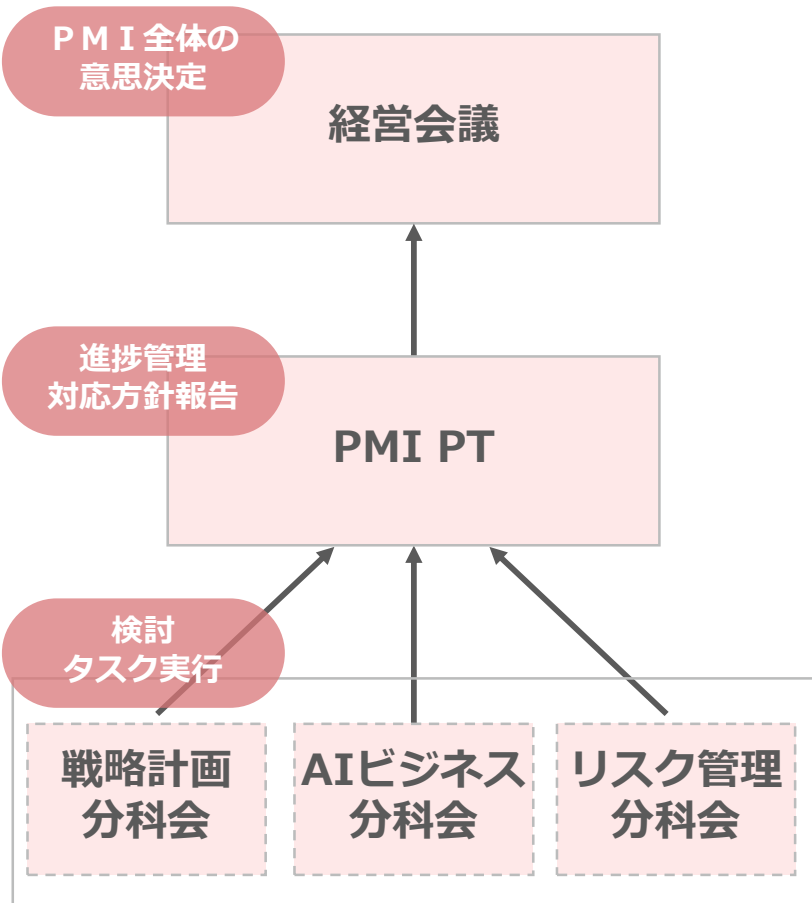
### コロナ要因先（金額）



シナジー創出に向けたPMIを推進。シナジー領域ごとの取組みを具体化。

PMIの推進態勢

TOB公表以降、シナジー最大化に向けたPMIを加速



シナジー創出

領域
活用領域Ⅰ お客さまとのデジタル接点の高度化
活用領域Ⅱ 当行グループの業務活動の高度化
活用領域Ⅲ お客さまの業務活動の高度化
活用領域Ⅳ AI教育

想定シナジー 5年累計 30億円

銀行の「マーケティングモデル高度化計画」策定	2024/12 完了
モデル高度化の実現・対象モデルの拡大	
AIによる効率化領域の検討（1号プロジェクト）	実施中
プロジェクトの拡大	
AIソリューションターゲット企業のニーズ確認	実施中
ニーズ顕在化先へのAIソリューション提供	
「AIジョブカレ」を導入	2024/12 完了
AI/データ人材育成の体系化	

**AIJobColle** エッジ社が提供するAI教育講座

- 日本ディープラーニング協会認定講座
- 東京都など複数自治体で導入実績あり

必修	講座① AI編	AIリテラシー 産業応用事例	対象 約4,000人中 約1,500人が受講完了※ →今年度中に対象者全員が完了予定
任意	講座② データサイエンス編	データ分析手法	約100人が受講中※

当行グループにおける「AI元年」  
AIネイティブな企業グループへ

本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは  
下記 I R 担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部（I R 担当）

Tel : 043-301-8459

E-Mail: [ir@chibabank.co.jp](mailto:ir@chibabank.co.jp)

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。